

平成30年度

# 事業報告書



**日本赤十字社** 大阪府支部  
Japanese Red Cross Society

1

## はじめに

2

平素は、日本赤十字社大阪府支部の活動に格別のご支援、ご協力をいただきありがとうございますことを、厚くお礼申し上げます。

3

日本赤十字社では、「救うこと、つづける。」を合言葉として、災害時の救護活動だけではなく、災害時の被害を少しでも軽減するために地域や学校における防災・減災への取り組みを強化しています。また、いのちと健康を守る知識と技術を伝える急救法講習などの普及、ボランティア活動の支援や青少年赤十字活動を通じた青少年の育成、地域防災活動の促進など皆さまにより身近な活動を続けてあります。

4

「救いたい」という気持ちが結集したとき、想像を超える大きな力が生まれます。その“うねり”を原動力とする「運動体（Movement）」の赤十字は、紛争、災害、病気、傷害、貧困などに悩む人々を「救う」ため、研鑽を重ね、持てる力を発揮します。

5

ここに平成30年度に実施いたしました各種事業内容をご報告申し上げます。

6

皆さまにあかれましても、今後とも赤十字運動への一層のご理解とご支援をお願いいたします。

7

お気づきの点など、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

8

令和元年6月

9

日本赤十字社大阪府支部

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

# 目 次

## はじめに

<b>1 国内災害救護</b>	4
<b>1 救護班・救護員の登録状況</b>	4
<b>2 災害救護活動への救護員の派遣等</b>	4
<b>3 災害ボランティアセンターの運営支援</b>	6
<b>4 救護訓練の実施状況</b>	7
<b>5 救護員研修会の実施状況</b>	7
<b>6 災害用救援物資の備蓄</b>	8
<b>7 支部救護資機材等の整備</b>	9
<b>8 街頭救急箱の設置</b>	9
<b>9 義援金の受付</b>	9
<b>2 國際活動</b>	10
<b>1 国際救援・開発協力要員の登録状況</b>	10
<b>2 海外派遣</b>	11
<b>3 支部の国際活動への参加</b>	12
<b>4 消息不明者の安否調査</b>	12
<b>5 海外救援金の受付</b>	12
<b>3 赤十字ボランティア</b>	13
<b>1 赤十字ボランティアの現況（登録状況）</b>	13
<b>2 地域赤十字奉仕団の活動</b>	14
<b>3 特殊赤十字奉仕団の活動</b>	16
<b>4 青年赤十字奉仕団の活動</b>	19
<b>5 個人ボランティアの活動</b>	20
<b>6 支部の奉仕団活動促進事業</b>	21
<b>7 他団体との連携・協力事業</b>	22

<b>4 青少年赤十字</b>	24
<b>1 加盟の現状</b>	24
<b>2 青少年赤十字の活動推進（会議等の開催）</b>	27
<b>3 青少年赤十字指導者の育成（講習会等の開催）</b>	28
<b>4 青少年赤十字メンバーの育成</b>	29
<b>5 青少年赤十字健康安全プログラム等 実施状況</b>	32
<b>6 青少年赤十字介護体験プログラム等 実施状況</b>	34
<b>7 青少年赤十字国際理解・平和学習 プログラム実施状況</b>	36
<b>8 青少年赤十字防災プログラム実施状況</b>	37
<b>5 救急法などの講習</b>	39
<b>1 救急法</b>	39
<b>2 水上安全法</b>	39
<b>3 健康生活支援講習</b>	40
<b>4 幼児安全法</b>	40
<b>5 「赤十字防災啓発プログラム」講習</b>	41
<b>6 各種イベントの開催</b>	41
<b>6 医療事業</b>	42
<b>1 業務実績</b>	42
<b>2 支部による整備費（救護用医療機器及び 救急医療体制の整備）</b>	42
<b>7 看護師などの教育</b>	43
<b>1 大阪赤十字看護専門学校</b>	43
<b>2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与</b>	43

<b>8 社会福祉</b>	44	<b>14 評議員会</b>	56
<b>1 大手前整肢学園</b>	44	<b>1 開催状況</b>	56
<b>2 支部による整備費（社会福祉施設の整備）</b>	44		
<b>3 訪問看護ステーション</b>	44		
<b>9 血液事業</b>	45	<b>15 赤十字大会</b>	57
<b>1 献血状況累計</b>	45	<b>1 表彰者の内訳</b>	57
<b>2 血液製剤の供給本数</b>	45	<b>2 式次第</b>	58
<b>3 支部による整備費（採血受入機関の整備）</b>	45		
<b>10 活動資金の募集</b>	46	<b>16 会計</b>	59
<b>1 財政基盤の強化</b>	46	<b>1 活動資金の収入支出</b>	59
<b>2 活動資金（社資）募集実績表</b>	46	<b>2 平成30年大阪府北部地震義援金</b>	60
<b>3 会員数</b>	48		
<b>4 日赤地区分区事務担当者等会議・研修会</b>	48		
<b>11 赤十字の広報</b>	49	<b>17 日本赤十字社の機構</b>	61
<b>1 広報物の作製</b>	49	<b>1 機構</b>	61
<b>2 マスメディア等による広報</b>	50		
<b>3 イベントによる広報</b>	52		
<b>4 その他</b>	52		
<b>12 赤十字思想及び国際人道法の普及</b>	53	<b>18 大阪日赤有功会</b>	63
<b>1 国際人道法の普及</b>	53	<b>1 常任委員会の開催</b>	63
<b>13 支部創設130周年記念にかかる取り組み</b>	54	<b>2 総会の開催</b>	63
<b>1 記念ロゴの作成</b>	54	<b>3 親睦行事の実施</b>	64
<b>2 日本赤十字社大阪支部 創設130周年記念事業国際人道法講義「人のいのちを守る赤十字の人道支援」の開催</b>	54	<b>4 会員の健康管理</b>	64
<b>3 記念品「ハートラちゃん ホイッスルチャーム」の作製</b>	55	<b>5 修学奨励</b>	64
<b>4 「ソルフェリーノの丘のイトスギ」植樹式の実施</b>	55	<b>6 赤十字活動推進への支援</b>	64
		<b>7 街頭救急箱の設置</b>	65
		<b>8 修学奨励</b>	65
		<b>9 赤十字活動推進への支援</b>	65
		<b>10 街頭救急箱の設置</b>	65
		<b>11 義援金の受付</b>	65
		<b>19 平成30年度の主な取り組み</b>	66

# 1 国内災害救護

近年、災害は大規模・広域化、長期化することが増え、近畿では南海トラフ地震など甚大な被害を及ぼす災害が予想されています。

このため当支部では、災害救護活動をより効果的に実施するため、救護員の資質向上を目標とした研修や訓練を実施し、救護体制及び救護資機材の整備に積極的に取り組んでいます。

平成30年度は大阪府北部地震や7月豪雨災害の被災地に救護班を迅速に派遣し、被災者のお力になれるよう途切れのない支援を行いました。

## 1 救護班・救護員の登録状況

(平成31年4月1日現在)

支部・施設	班数	救護班要員(人)							血液供給要員	災害対策本部要員	計(人)
		医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師	その他			
支 部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	32
大阪赤十字病院	15	20	15	28	34	2	9	-	-	-	108
高槻赤十字病院	5	5	5	10	10	1	5	-	-	-	36
血液センター	-	-	-	-	-	-	-	-	77	-	77
計	20	25	20	38	44	3	14		77	32	253

## 2 災害救護活動への救護班等の派遣

平成30年大阪府北部地震医療救護班派遣数一覧（派遣者総数 60人）

班名等	派遣期間	派遣場所	参加施設(人)				
			大阪HP	高槻HP	支部	血液センター	計
第1班	6月18日	茨木市	9		2		11
第2班	6月19日		9		2		11
第3班	6月20日		5				5
第4班	6月20日		4				4
第5班	6月20日		1	3	1		5
災害医療コーディネートチーム 第1班	6月18日	大阪府支部			2		2

班名等	派遣期間	派遣場所	参加施設(人)				
			大阪HP	高槻HP	支部	血液センター	計
災害医療コーディネートチーム 第2班	6月18日 ～22日	茨木市	3				3
災害医療コーディネートチーム 第3班	6月19日 ～21日	茨木市			5		5
血液供給要員	6月18日	大阪府庁				3	3
災害対策本部リエゾン	6月23日 ～25日	大阪府庁			7		7
物資搬送班	6月18日	高槻市	2			2	4
		計(人)	33	3	19	5	60

平成30年7月豪雨災害医療救護班等派遣数一覧（派遣者総数 26人）

班名等	派遣期間	派遣場所	参加施設(人)			
			大阪HP	高槻HP	支部	計
物資搬送班	7月10日				2	2
第1班	7月12日～15日	倉敷市	10		1	11
第2班	7月21日～24日		7	4	1	12
支部支援班	7月24日～28日	岡山県支部			1	1
		計(人)	17	4	5	26



避難者の常用薬を確認する医師（平成30年大阪府北部地震）

### 3 災害ボランティアセンターの運営支援

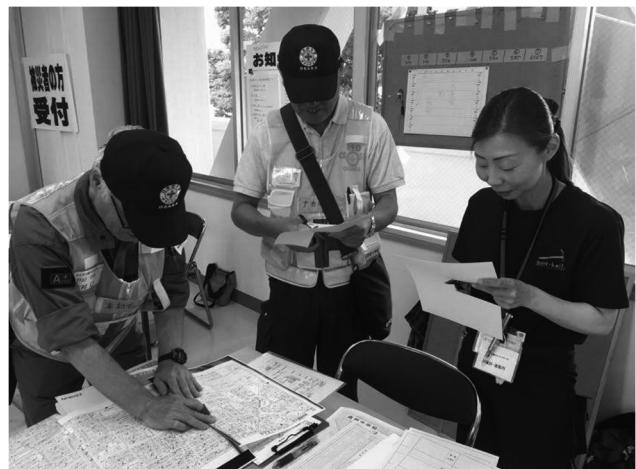
6月18日に発生した大阪府北部地震の被害を受けた茨木市及び高槻市に、災害ボランティアセンター（以下「災害VC」という。）がそれぞれ6月末に設置され、茨木市VCで27日間、高槻市災害VCで22日間、赤十字防災ボランティア（以下「赤十字防災V」という。）及び職員が運営支援を実施しました。

赤十字防災Vは、各災害VCにおいて、ボランティアの受付やマッチング（被災者のニーズとニーズに対応できるボランティアを結びつける作業）などに貢献しました。

実施日	活動内容	活動ボランティア
茨木市災害VC 6月21日～7月26日（27日間） 高槻市災害VC 6月23日～7月21日（22日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害VCの運営支援</li> <li>・ボランティアの受付</li> <li>・被災地におけるニーズのマッチング</li> </ul>	茨木市災害VC 55人 高槻市災害VC 42人 合計 延べ97人



茨木市災害VC「ボランティアから活動報告を受ける赤十字防災V」



高槻市災害VC「様々な団体と連携を取りながら活動する赤十字防災V」

## 4 救護訓練の実施状況

(10回、参加者125人以上)

主 催	実施日	訓練の名称	会 場	参加施設(人)					
				大阪 H P	高槻 H P	血液 セ n t e	支 部	計	
赤十字	大阪府支部	6月2日	日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練	大阪赤十字会館 太陽の広場	18	14	2	29	63
	大阪赤十字病院	10月1日	大阪赤十字病院 院内災害訓練	大阪赤十字病院	多数				多数
	高槻赤十字病院	12月10日	高槻赤十字病院訓練	高槻赤十字病院		多数			多数
行政	近畿地方整備局 堺市	11月5日	近畿地方整備局堺市 合同総合防災訓練	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点		8		4	12
	大阪府	11月21日	大阪府国民保護共同 実動訓練	東大阪市花園 ラグビー場周辺	4	6		2	12
	大阪府	1月17日	大阪府地震・津波 災害対策訓練	大阪府庁				3	3
	大阪府	2月5日	G20大阪サミット 国民保護共同実動訓練	A T C	6			3	9
その他	大阪国際空港	11月15日	大阪国際空港航空機 事故対策総合訓練	大阪国際空港		8		2	10
	N T T西日本 N T Tドコモ	11月21日	N T T西日本グループ・ N T Tドコモグループ 関西合同防災訓練	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点				6	6
	関西国際空港	2月28日	関西国際空港航空機事故 消火救難総合訓練	関西国際空港				3	10
				計(人)	35以上	36以上	2	52	125以上

(注) 検証・オブザーバー参加、来賓参加を除く

## 5 救護員研修会の実施状況

(12回、参加者 計243人)

主催	実施日	研修の名称	会 場	参加施設(人)				
				大阪 H P	高槻 H P	血液 セ n t e	支 部	計
本社	11月30日 ～12月1日	日本赤十字社原子力災害対応 基礎研修会	長浜赤十字病院	5	3		2	10
	12月7日 ～8日	日赤災害医療コーディネート研修会	本社	1	2		1	4
	12月10日 ～12日	こころのケア指導者養成研修会	本社	1				1
	2月16日 ～18日	全国赤十字救護班研修会	兵庫県支部 兵庫県支部災害 救護支援センター		3		1	4
支部	6月30日	救護員基礎研修会	大阪赤十字病院	39	13	1	4	57
	10月21日	ステップアップ・d E R U研修会	大阪赤十字病院	21	17	3	4	45
	1月15日	資機材習熟研修会	大阪赤十字病院				9	9
	2月8日						11	11

主催	実施日	研修の名称	会 場	参加施設(人)				
				大阪 HP	高槻 HP	血液 センター	支部	計
支部	9月20日	こころのケア研修会（※）	大阪赤十字会館	19	8		2	29
	11月15日			17	10	2	2	31
	12月12日	災害対策本部要員研修会	大阪赤十字会館				20	20
その他	10月20日 ～23日	日本災害医療ロジスティクス研修	岩手医科大学他				1	1
	11月3日	大阪府災害医療コーディネーター研修	大阪医療センター		1		3	4
			計(人)	103	57	6	60	226

※ こころのケア研修会は大阪府警の担当者も参加（第1回3人、第2回3人）

## 6 災害用救援物資の備蓄

(平成31年3月31日現在)

### (1) 災害救助法が適用される災害時に配付する物資

大阪赤十字病院の「日本赤十字社災害拠点病院ロジスティクス・センター」及び高槻赤十字病院の「高槻赤十字病院災害救護倉庫」に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛 布	7,700枚
緊急セット	1,866個
安眠セット	555個

### (2) 災害救助法が適用されない地震、風水害、火災、その他の災害に配付する物資

大阪府支部の「救護倉庫」及び各地区・分区の倉庫等に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛 布	1,238枚
日用品セット	395個

**7****支部救護資機材等の整備**

救護資機材を計画的に整備、更新しました。

品名	数量	用途
D R A S H M X 5 (診療所用テント)	1式	災害発生時にd E R Uを展開する際のベースとなる 診療所用テントとして使用するため
輸血・検査関連機器	1式	d E R Uにおいて輸血を行うため
手術器具(鋼製小物)	1式	d E R Uにおいて手術を行うため
ポケットCO <sub>2</sub> モニタ	1式	気管挿管時のCO <sub>2</sub> 濃度を測定するため
タンカ・ストレッチャー	5台	災害時に傷病者を円滑に搬送するため
防寒着 (血液センター用)	25着	血液運搬要員への救護衣の整備
非常食		救護員の食料を確保するため
ドライブレコーダー	15台	救護班派遣時の安全面を確保するため

**8****街頭救急箱の設置**

応急手当を必要とする府民の利用に供することを目的に、府内の警察・消防署などに救急箱を設置しています。

設置先	設置数(個)	備考
大阪府警察本部	935	府内各警察署、交番などに配置
大阪府庁	4	来庁者用

**9****義援金の受付**

名称	件数(件)	受付額(円)
東日本大震災義援金	368	3,663,292
平成28年熊本地震災害義援金	456	3,033,750
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	176	965,991
平成30年大阪府北部地震災害義援金	677	53,873,103
平成30年7月豪雨災害義援金	1,275	85,303,040
平成30年米原市竜巣災害義援金	15	1,183,575
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	336	10,804,945
合計	3,303	158,827,696

## 2 国際活動

日本赤十字社はスイスのジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟や各国の赤十字社・赤新月社と連絡を取り合って、武力紛争の犠牲者や自然災害の被災者に対して緊急に救援活動を行うとともに、保健衛生事業などの中・長期の視野に立った開発協力事業を実施しています。

当支部でも、国際的な視野を持った救援要員の養成及び保健医療支援などの国際活動を積極的に行ってています。日本赤十字社の「国際医療救援拠点病院」に指定されている大阪赤十字病院及び当支部から、バングラデシュ南部避難民救援を始め、パレスチナ赤新月社医療支援など長期的に支援する活動を行いました。

### 1 国際救援・開発協力要員の登録状況

(平成31年3月31日現在)

支部・施設等	医 師	看護師助産師	管理要員 (含コメディカル)	合計(人)
支 部	—	—	4	4
大阪赤十字病院	5	10	10	25
高槻赤十字病院	—	2	—	2
血 液 センター	—	—	—	0
奉 仕 団 等	—	—	1	1
計	5	12	15	32

## (1)救援要員の派遣

名 称	派遣先	派遣期間	派遣要員
連盟 バングラデシュ南部避難民救援事業	バングラデシュ人民共和国	4月21日～5月31日	大阪赤十字病院 看護師 1人
バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業	バングラデシュ人民共和国	7月10日～8月28日	大阪赤十字病院 看護師 1人
フィリピン・セブ北部地域保健衛生事業	フィリピン共和国	平成30年7月14日～ 平成31年1月14日	大阪赤十字病院 看護師 1人
二国間 パレスチナ赤新月社医療支援事業	レバノン共和国	7月23日～11月11日	大阪赤十字病院 医師 1人
		11月20日～2月20日	大阪赤十字病院 医師 1人
		平成30年10月5日～ 平成31年4月8日	大阪赤十字病院 看護師 1人
バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業	バングラデシュ人民共和国	8月2日～8月31日	大阪赤十字病院 薬剤師 1人
		11月3日～12月3日	大阪赤十字病院 薬剤師 1人
		9月29日～10月29日	大阪赤十字病院 薬剤師 1人
		8月18日～10月26日	大阪赤十字病院 助産師 1人
		10月2日～11月27日	大阪府支部 事務 1人
		1月9日～2月12日	大阪赤十字病院 事務 1人
		2月5日～2月25日	大阪赤十字病院 臨床工学士 1人
インドネシア・スラウェシ島地震救援事業	インドネシアジャカルタ等	10月22日～11月26日	大阪赤十字病院 看護師 2人
連盟 バングラデシュ南部避難民救援事業	バングラデシュ人民共和国	平成30年12月5日～ 平成31年1月28日	大阪赤十字病院 医師 1人
二国間 パレスチナ赤新月社医療支援事業	レバノン共和国	平成30年3月19日～ 平成31年3月13日	大阪赤十字病院 事務 1人

## (2) 職員の派遣

名 称	派遣先	派遣期間	派遣要員
ミャンマー赤十字社救急法普及支援事業の技術助言	ミャンマー連邦共和国	11月25日～12月5日	大阪府支部 看護師 1人

## 3

## 支部の国際活動への参加

(2事業、計170万円)

2

国際活動

国名	事業名	支援金額(円)	備考
東ティモール	救急法普及支援事業	70万	・平成25年度より実施
インドネシア	コミュニティ防災事業	100万	・平成30年度より実施

## 4

## 消息不明者の安否調査

調査依頼者在住国	取扱件数
朝鮮民主主義人民共和国	4件

## 5

## 海外救援金の受付

名称	件数(件)	受付額(円)
中東人道危機救援金	12	27,486
バングラデシュ南部避難民救援金	10	112,482
2018年インドネシア・ロンボク島地震救援金	11	22,943
2018年インドネシア・スラウェシ島地震救援金	8	15,480
合計	41	178,391



地域ボランティアリーダーから保健衛生状況を聞き取る管理要員  
(バングラデシュ南部避難民救援事業)

# 3 赤十字ボランティア

赤十字奉仕団とは、赤十字の使命である人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成された、ボランティア組織です。昭和23年に創設された赤十字奉仕団は、現在に至るまで、その時代にふさわしい先駆的な活動を展開しています。

赤十字奉仕団には、地域ごとに組織されている「地域赤十字奉仕団」、若者によって組織されている「青年赤十字奉仕団」、無線や災害救護、看護、語学など特殊な技能をもった人たちによって組織されている「特殊赤十字奉仕団」があります。また、個人で赤十字活動に参画している個人ボランティアのグループもあります。

赤十字の活動は、こうしたボランティア活動によって支えられています。

3

赤十字ボランティア

## 1

## 赤十字ボランティアの現況（登録状況）（平成31年3月31日現在）

### (1) 地域赤十字奉仕団

	市区町村数	奉仕団数	団員数（人）		
			男	女	計
区	31	31	107,348	92,409	199,757
市	31	31	264,208	230,671	494,879
町	9	9	138	168	306
村	1	1	13	0	13
計	72	72	371,707	323,248	694,955

### (2) 特殊赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）		
	男	女	計
日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団	23	20	43
大阪赤十字安全事業指導奉仕団	58	51	109
日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団	36	5	41
日本赤十字社大阪府支部 大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団	18	3	21
日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団	3	6	9
日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団	10	3	13
大阪赤十字病院奉仕団	16	49	65
日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団	2	16	18
近畿大学赤十字奉仕団	60	52	112
大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団	0	79	79
大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団	3	156	159
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団	44	8	52
高槻日赤技能奉仕団	4	24	28
計	13団	277	472
			749

### (3) 青年赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数(人)		
	男	女	計
大阪府青年赤十字奉仕団	8	10	18
大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団	4	115	119
玉手山学生赤十字奉仕団	11	26	37
大阪産業大学学生赤十字奉仕団	34	5	39
計	4団	57	156
			213

### (4) 個人ボランティア

ボランティア名	男(人)	女(人)	計(人)
赤十字防災ボランティア	58	19	77
裁縫ボランティア	0	32	32
救急法等指導ボランティア	6	5	11
健康生活支援講習指導ボランティア	1	12	13
幼児安全法講習指導ボランティア	4	18	22
子育て支援ボランティア	2	42	44
計	6 グループ	71	128
			199

## 2 地域赤十字奉仕団の活動

### (1) 支部主催

行事名	実施日	場所	参加者(人)	内 容
ボランティア基礎研修会	5月28日	大阪赤十字会館	30	「赤十字のしくみと活動」 「赤十字活動資金の募集」 「日本赤十字社の災害救護活動」 「地域で展開できる赤十字活動（救急法講習、赤十字防災啓発プログラム）」
	9月28日	大阪赤十字会館	19	
ボランティアリーダー研修会（Ⅰ）	6月28日	大阪赤十字会館	39	「血液事業の現状と推進について」 「赤十字防災啓発プログラム（講義）」 ～巨大地震への備え～大切な人のいのちを守る 「防災啓発プログラム（実技）」 避難所支援での生活支援
ボランティアリーダー研修会（Ⅱ）	7月24日	大阪赤十字会館	22	「日本赤十字社の現状」 「奉仕団のリーダーに求められるもの」 大阪教育大学 教育協働学科 教授 新崎 国広 「災害時に役立つ身近な物を使った応急手当（実技）」

## (2) 衛都連主催

行 事 名	実施日	場所	参加者 (人)	内 容
衛都連理事研修会	9月21日	大阪赤十字会館	23	防災教育の最前線 －防災教育から防災教育へ－ 関西大学 社会安全学部 准教授 城下 英行 氏

## (3) 地区主催施設見学研修会等の開催 7団・4ブロック 12回

奉仕団名	実施日	場所	内 容
阪南ブロック赤十字奉仕団	8月8日	関空エアポート フジントンホテル	大阪府北部地震災害及び平成30年7月豪雨災害における日赤大阪府支部の対応について
和泉市赤十字奉仕団	11月12日	ホタルきらきら リゾート関空	日本赤十字社の活動について
堺市美原区赤十字奉仕団	11月13日	美原区役所	地域で展開できる赤十字活動 (救急法等講習、防災啓発プログラム)
門真市赤十字奉仕団	11月19日	門真市 保健福祉センター	災害時の口腔ケア
吹田市赤十字奉仕団	11月22日	大阪赤十字病院 ロジスティクスセンター	・大阪赤十字病院施設見学 ・同病院の災害救護活動の取組みについて ・救護班要員の装備や備蓄品について
八尾市赤十字奉仕団	1月31日	八尾市文化会館	国内における災害救助活動報告
東成区赤十字奉仕団	2月3日	シェラトン 都ホテル大阪	赤十字活動について
河内ブロック赤十字奉仕団	2月7日	日赤広島県支部	・7月豪雨災害における日赤の活動 ・赤十字奉仕団の活動について
寝屋川市赤十字奉仕団	2月8日	寝屋川市役所	大阪府支部の国際活動 ～バングラディッシュ避難民救援事業～
北摂ブロック赤十字奉仕団	2月25日	豊中市 すこやかプラザ	衛都連ブロック助成金の活用について
東成区赤十字奉仕団	3月9日	シェラトン 都ホテル大阪	日本赤十字社大阪府支部の活動について
北河内ブロック赤十字奉仕団	3月15日	日赤広島県支部	・7月豪雨災害における日赤の活動 ・赤十字奉仕団の活動について

#### (4) 地域赤十字奉仕団大会・総会の開催

実施日	地区名	場 所	種 別
<b>【大阪市】</b>			
5月19日	都島区	太閤園ダイヤモンドホール	大 会
10月5日	生野区	ホテルアヴィーナ大阪	大 会
10月5日	淀川区	淀川区民センター	大 会
10月16日	平野区	平野区民センター	大 会
10月18日	住之江区	住之江区民ホール	大 会
10月23日	城東区	城東区民センター	大 会
10月24日	東淀川区	東淀川区民ホール	大 会
10月25日	西淀川区	西淀川区民ホール	大 会
11月2日	住吉区	住吉区民センター	大 会
11月2日	西成区	ホテルモントレグラスミア大阪	大 会
11月8日	港区	港区民センター	大 会
11月9日	鶴見区	鶴見区民センター	大 会
11月16日	此花区	梅香殿	大 会
12月6日	東成区	東成区民センター	大 会
実施日	地区名	場 所	種 別
<b>【衛都連】</b>			
4月18日	豊中市	豊中市すこやかプラザ	総 会
4月20日	池田市	池田市保健福祉総合センター	大 会
4月24日	箕面市	箕面市立総合保健福祉センター分館	総 会
4月29日	摂津市	摂津市コミュニティプラザ	総 会
5月19日	門真市	門真市民プラザ	総 会
5月21日	大東市	大東市立市民会館	大 会
6月4日	吹田市	吹田市役所	総 会
7月10日	八尾市	八尾市文化会館	総 会
12月7日	枚方市	ラポールひらかた	大 会

### 3 特殊赤十字奉仕団の活動

#### (1) 日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団

プロの芸能人により組織された奉仕団で、大阪府内の高齢者福祉施設などを訪問している。漫才、マジック、曲芸、大神楽、浪曲、落語、歌謡ショーなど、多彩な演芸種目を披露して人々に笑顔を届けている。

##### ア 地域での活動 5回

大阪市、大東市、東大阪市、吹田市

##### イ 年末訪問活動（12月） 4回

和泉市、池田市、四條畷市、富田林市

## (2) 大阪赤十字安全事業指導奉仕団

救急法、水上安全法などの指導を通して、一人でもその知識や技術を習得し、安全な市民生活が営まれるよう努力している。

- ア 救急法講習会（基礎講習・短期）
- イ 救急法講習会（救急員養成講習）
- ウ 救急法救急員資格継続研修
- エ 水上安全法講習会（短期）
- オ 水上安全法講習会（救助員養成講習Ⅰ）
- カ 水上安全法講習会（救助員養成講習Ⅱ）
- キ 水上安全法救助員資格継続研修
- ク ボランティア・フェスティバルなど、普及イベントの実施

## (3) 日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団

災害時に無線技術を用いて災害救護活動に協力、また日頃から災害に備えた訓練などを実施している。

- ア 各種訓練、行事への参加（全国無線奉仕団との通信訓練など）
- イ 業務無線伝搬調査

## (4) 日本赤十字社大阪府支部歯科医師自動車連盟救助奉仕団

歯科医師の技術を活かし、機動力のある自動車を駆使して災害時の救護活動をする目的で結成。救急法講習会の開催、器具の点検や薬品の整備など災害に備えている。

## (5) 日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団

府内在住の外国人を対象に「日本語教室」を定期的（毎週木曜19時～21時）に開催し、日本語能力の向上に寄与している。

## (6) 日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団

赤十字関係行事での写真撮影、記録を通じて、赤十字事業の普及を図る。

## (7) 大阪赤十字病院奉仕団

大阪赤十字病院内での受付案内や車椅子の移送介助、入院患者を対象とした院内図書活動などを行っている。また、福祉施設へ縫製したパジャマなどを届ける裁縫奉仕活動も行っている。

## (8) 日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団

看護師（准看護師）免許をもつ者で組織されており、各種イベントで参加者が安全に過ごせるように保健活動を行っている。

- ア 支部主催事業での保健活動（計4件、活動のべ日数12日）
- イ 青少年赤十字加盟校主催の宿泊学習（計22件、活動のべ日数47日）
- ウ 府民が集うスポーツ大会等での保健活動（計17件、活動のべ日数26日）

#### (9) 近畿大学赤十字奉仕団

大学や青年赤十字奉仕団と連携を図り幅広い活動を行っている。

- ア 学内での献血推進活動
- イ 養護施設入所児童との交流
- ウ 近大クリーンプロジェクト（大学構内及び大学周辺の清掃活動）

#### (10) 大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団

福祉施設において、口腔衛生指導や口腔機能訓練を定期的に行い、公衆歯科衛生の普及向上を図っている。

- ア 知的障がい児施設における口腔衛生指導
- イ 視覚障がいリハビリテーションセンターにおける口腔衛生指導
- ウ イベントや健康展において歌遊びを交えた口腔衛生指導

#### (11) 大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団

福祉施設入所者に対し、ハンドケア、フェイシャルケアなどを施すことにより、ケアを受けた方が笑顔を取り戻し、生きる励みになるよう活動を続けている。

- ア 福祉施設での活動（拠点19カ所）
- イ ビューティーケア・ボランティア養成基礎講習会の実施
- ウ 各種講演活動

#### (12) 大阪府青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字指導者であった経験を活かし、新たな指導者やメンバーの育成に取り組んでいる。また、青少年赤十字活動の記録、広報を担い、事業の伸展に寄与している。

- ア 青少年赤十字活動報告書の作成
- イ 地域の学校訪問（青少年赤十字の普及と支援）
- ウ 近畿ブロック、全国賛助奉仕団と連携した活動に参画

#### (13) 高槻日赤技能奉仕団

健康生活支援講習で習得した技能をもとに、高槻市地域に根差した活動を行っている。

- ア 高槻市が主催する行事での救護活動（応急手当）
- イ 高槻赤十字病院内の活動（受付案内、足浴、洗髪、歩行介助）
- ウ 健康生活支援講習会でアシスタントとして活動

### (1) 大阪府青年赤十字奉仕団

18歳から30歳までの社会人や学生で組織されており、若者の感性を活かした行事を積極的に行っている。

- ア 青少年赤十字行事へのスタッフ参加（トレーニングセンター、スタディセンターなど）
- イ 防災ピア・エデュケーションの実施（大阪管区気象台と連携）

### (2) 大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団「あゆみ会」

執行部、院内図書班、献血班、児童養護施設高津学園班、大手前整肢学園班、手話班、点訳班、リーディング班の各班に分かれて活動しており、大阪赤十字病院や大手前整肢学園を中心に、入院患者（入所者）にとって快適な環境づくりに努めている。また、院外活動として児童養護施設や視覚支援学校を訪問し交流を深めている。

### (3) 玉手山学生赤十字奉仕団

- ア 学内での献血推進活動
- イ 特別支援学校入所児童との交流（保育ボランティア、ハイキング、運動会等）

### (4) 大阪産業大学学生赤十字奉仕団

- ア 学内での献血推進活動
- イ 大東市（大学の所在地）に住む障がい児童との交流

### (5) 奉仕団合同で行う活動

大阪府青年赤十字奉仕団、大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団、玉手山学生赤十字奉仕団、大阪産業大学学生赤十字奉仕団、近畿大学赤十字奉仕団が協同して下記事業を行った。

- ア 大手前整肢学園児童との交流
  - ・一泊園外活動（須磨海浜水族園）
  - ・一日園外活動（イオンモール四條畷）
  - ・定期交流会（通称：O S T E K）および季節の行事（夏祭り、花火大会、クリスマス会など）
- イ 児童養護施設入所児童招待プログラム「赤十字冬のつどい」
- ウ H I V / A I D S ピア・エデュケーション（夏・冬の2回開催）、防災ピア・エデュケーション
- エ 点字翻訳活動
- オ 新入団員セミナーの開催（活動紹介、グループワークなど）

- 力 大阪YABC講座
- キ 募金活動（災害義援金、NHK海外たすけあい）

## 5 個人ボランティアの活動

### (1) 防災ボランティア

6月に発災した大阪府北部地震では、震源に近い茨木市、高槻市の災害ボランティアセンターに運営支援に入るなど、他団体との協働により、被災地支援を行った。

また、長期的な支援となったことから、第4（近畿）ブロックの近隣府県に所属する防災ボランティアの協力を得てネットワークを活かした活動を行った。

- ア 基礎研修会、実践研修会などの開催
- イ 親と子の防災セミナーの実施（夏1回）
- ウ 1日赤十字デー@大阪880万人訓練（赤十字啓発イベント）への協力
- エ 各種訓練への参加
- オ 各奉仕団が主催する防災研修に参画
- カ 地域赤十字奉仕団や青少年赤十字加盟校での防災プログラムの提供
- キ 自主勉強会の実施（2カ月に1回）
- ク 災害ボランティアセンター（茨木市・高槻市）運営支援と府内での支援活動

### (2) 裁縫ボランティア

パジャマなどを縫製し、府内の社会福祉施設に届けている。

- ア 高齢者向け施設へ寄贈…パジャマ、ひざ掛け、ティッシュカバーなど、計428点
- イ 乳児院へ寄贈…パジャマ、よだれかけ、スモック、ボールなど、計137点

### (3) 子育て支援ボランティア

支部主催の「子育て支援ボランティア養成講座」を受講後に登録した個人ボランティアで、支部主催の講習やイベント開催時に、参加者の子どもを一時的に預かる活動などを行っている。

- ア 大阪赤十字病院訪問（小児科病棟で絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなど）
- イ あべの献血ルームでの一時保育（お子様見守りサービス）の実施

行事名	実施日	場所	参加者 (人)	内 容
赤十字ボランティア基礎研修会	6月10日	大阪赤十字会館	84	「赤十字のおこりと基本原則」 「災害と赤十字ボランティア」 「炊き出し実習」 「身近なものを使った応急手当」 「赤十字とボランティア」 「ボランティア活動事例発表」
赤十字ボランティア防災研修会	12月2日	堺市立土師小学校	61	「屋根のシート張り講習」開催趣旨 「社協の役割・活動、災害ボランティアセンターとは」 「屋根のシート張り講習」座学・実技
赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会	2月16日	大阪赤十字会館	14	「グループとリーダーシップ」 赤十字奉仕団指導講師 瀬戸 善治郎 「人道的価値観について」 赤十字奉仕団指導講師 永田 恵 「災害ボランティアセンター運営者研修参加報告」 赤十字防災ボランティア 本村 仁氏
赤十字ボランティアのつどい	3月17日	大阪赤十字会館	10	<ボランティア活動報告> 「避難所における口腔ケアについて」 歯科衛生士会赤十字奉仕団 <基調講演> 「看取り期に向き合うー後悔しない選択を支えるボランティア活動力ー」 日赤鹿児島県支部 特別養護老人ホーム錦江園 生活相談員 中村 一也氏
赤十字ボランティア・フェスティバル	10月7日	TWIN21アトリウム		各奉仕団の活動体験コーナー、各奉仕団によるステージ、活動写真の展示など

## (1) 1日赤十字デー（地域における赤十字啓発イベント）

災害からいのちをつなぐため、災害時に不足するとされる食の確保について各地域で普及。また9月5日には、一斉に緊急速報メールが配信される「大阪880万人訓練」にあわせて実施しました。

協力地区	実施日	場所	協力ボランティア	内 容
藤井寺市	8月6日	藤井寺市立市民総合会館 別館	・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示、応急手当
八尾市	8月26日	八尾市立大正コミュニティセンター	・防災ボランティア	炊飯袋を使用した炊き出しの体験、応急手当
箕面市	9月3日	みのあキューズモール	・箕面市赤十字奉仕団 ・防災ボランティア	炊飯袋を使用した炊き出しの体験試食会
池田市	9月5日	池田市保健福祉総合センター 2階総合窓口前	・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示
門真市	9月5日	門真市役所	・防災ボランティア ・歯科衛生士会赤十字奉仕団 ・近畿大学赤十字奉仕団	災害食レシピの配付、パネル展示
四條畷市	10月21日	四條畷市市民活動センター	・防災ボランティア ・四條畷市赤十字奉仕団	災害食レシピの配付、パネル展示
枚方市	11月3日	ラポールひらかた	・枚方市赤十字奉仕団	災害食レシピの配付、パネル展示
柏原市 羽曳野市 藤井寺市	11月18日	大和川親水公園	・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示、炊飯袋を使用した炊き出しの体験試食会、応急手当
島本町	1月20日	島本町立第一中学校	・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示
茨木市	1月20日	茨木市立春日小学校 グラウンド体育館	・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示
高槻市	2月10日	高槻市地域福祉会館		災害食レシピの配付、パネル展示
枚方市	3月30日	藤阪ハイツ	・枚方市赤十字奉仕団	災害食レシピの配付、パネル展示

## (2) おおさか災害支援ネットワーク

おおさか災害支援ネットワーク（O S N）とは、府域における災害発生に備え、平時から互いの活動を知り、災害に対しての取り組みや課題の共有をしながら「顔の見える関係」を構築していくことが重要と考え、災害をテーマにした学びと情報交換を行うネットワーキングです。

当支部は、世話役（大阪府社会福祉協議会・大阪市社会福祉協議会・堺市社会福祉協議会・大阪ボランティア協会・大阪府生活協同組合連合会・日本防災士会大阪府支部・ゆめ風基金）8団体の一つとして、運営に関わっています。

団体名	実施日	場所	内 容
おおさか災害支援 ネットワーク	6月21日 6月23日	大阪赤十字会館	災害時連絡会議
	12月4日	大阪赤十字会館	「大阪府北部地震に関する振り返りについて」 「台風21号に関する振り返りについて」 「今回の震災で見えてきたもの」 「O S Nへの期待」

## (3) 大阪府・大阪府社会福祉協議会

団体名	実施日	場所	内 容
災害ボランティア コーディネーター研修会	1月31日	大阪赤十字会館	<講義> 「大阪府北部地震及び台風21号の被害状況と大阪府における災害対策について」 「災害ボランティアセンターの役割とは？」 <グループワーク> 「災害ボランティアセンターマッチング体験」

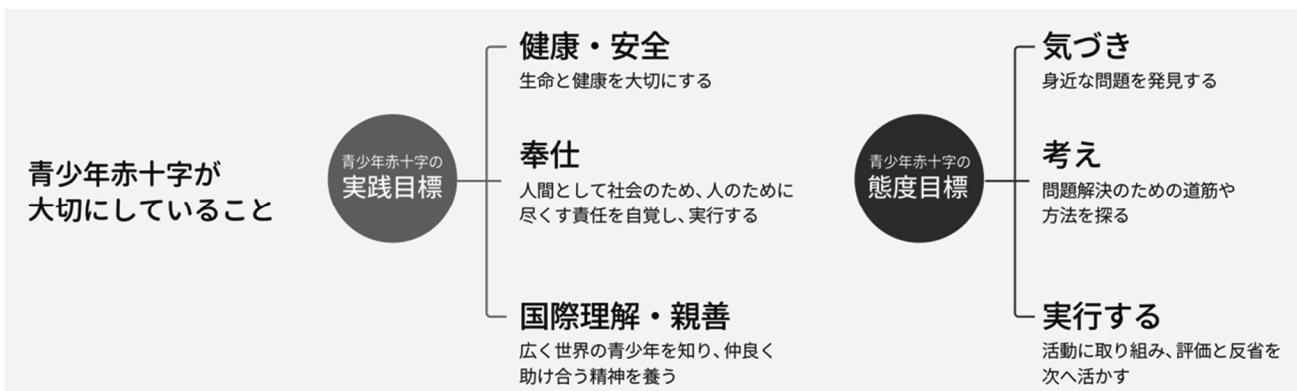
# 4 青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

この目的を達成するため、青少年にも分かりやすい三つの具体的な実践目標と望ましい態度目標を次のように掲げています。



リーダーシップ総合型トレーニング・センターでフィールドワークに取り組む青少年赤十字メンバー



上記の目標は、世界中の青少年赤十字に共通するもので、日本では学校教育の中で実践されています。

## 1 加盟の現状

### (1) 登録状況

校種	大阪府内の設置数	加盟校数 (増減)	加盟率	メンバー数
幼稚園	627 園	25 園 (-5)	4.0%	1,544
認定こども園	511 所	6 園 (3)	1.2%	1,174
保育所	1,434 所	8 所 (0)	—	959
小学校	1,004 校	302 校 (3)	30.1%	111,769
中学校	525 校	70 校 (2)	13.3%	25,232
高等学校	260 校	26 校 (1)	10.0%	12,810
特別支援学校	51 校	4 校 (0)	7.8%	327
合計	4,412 校園所	441 校園所 (4)	10.0%	153,815

## (2) ブロック・市町村別登録状況

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園 (増減)	認定こども園 (増減)	保育所 (増減)	小学校 (増減)	中学校 (増減)	高等学校 (増減)	特別支援学校 (増減)	合計 (増減)
大阪市	全 体		1	0	0	8 (-7)	2 (-1)	4 (2)	0	15 (-6)
	内 訳	北 区	0	0	0	0	0	1	0	1
		都 島 区	0	0	0	1 (-2)	0 (-1)	0	0	1 (-3)
		福 島 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		此 花 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		中 央 区	0	0	0	0	0	0 (-1)	0	0 (-1)
		西 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		港 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		大 正 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		天 王 寺 区	0	0	0	0 (-2)	0	0	0	0 (-2)
		浪 速 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		西 淀 川 区	0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
		淀 川 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		東 淀 川 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		東 成 区	0	0	0	0	1	0	0	1
		生 野 区	0	0	0	0	1	0	0	1
		旭 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		城 東 区	0	0	0	1	0	1 (1)	0	2 (1)
		鶴 見 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		阿 倍 野 区	0	0	0	0	0	1 (1)	0	1 (1)
		住 之 江 区	1	0	0	2	0	0	0	3
		住 吉 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		東 住 吉 区	0	0	0	0 (-2)	0	0	0	0 (-2)
		平 野 区	0	0	0	0	0	1 (1)	0	1 (1)
		西 成 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
堺 市	全 体		9 (0)	1 (0)	0 (0)	92 (-1)	5 (-1)	1 (1)	2 (0)	110 (-1)
	内 訳	堺 区	2	0	0	16	1	0	0	19
		中 区	2	0	0	13	0 (-1)	0	0	15 (-1)
		東 区	2	0	0	9	0	0	0	11
		西 区	1	0	0	14	0	1 (1)	0	16 (1)
		南 区	0	0	0	19 (-1)	1	0	2	22 (-1)
		北 区	1	1	0	15	0	0	2	19
豊 能	豊 中 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	池 田 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	箕 面 市		0	0	0	4	1 (1)	0	0	5 (1)
	豊 能 郡	能 勢 町	0	0	0	0	0	0	0	0
		豊 能 町	0	0	0	0	0	0	0	0

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園 (増減)	認定こども園 (増減)	保育所 (増減)	小学校 (増減)	中学校 (増減)	高等学校 (増減)	特別支援学校 (増減)	合計 (増減)	
三 島	吹田市		0	0	0	0	0	0	0	0	
	摂津市		0	0	0	0	0	0	0	0	
	茨木市		0	0	0	0	0	0	0	0	
	高槻市		0	0	0	0	0	0	0	0	
	三島郡 島本町		0	0	0	0	0	0	0	0	
北河内	守口市		0 (-3)	3 (3)	0	16 (1)	8 (1)	0	0	27 (2)	
	門真市		0	0	0	1	2	0	0	3	
	寝屋川市		0	0	0	0	0	1	0	1	
	枚方市		0	0	0	0	1	0	0	1	
	大東市		0	0	0	1 (1)	0	1 (-1)	0	2	
	四條畷市		0	0	0	7	3 (-1)	0	0	10 (-1)	
	交野市		0	0	0	0	0	0	0	0	
中河内	東大阪市		0	0	0	29 (1)	4 (1)	0	0	33 (2)	
	八尾市		0	0	0	0	0	0	0	0	
	柏原市		0	0	0	0	0	0	0	0	
南河内	松原市		0	0	0	0	0	0	0	0	
	藤井寺市		0	0	0	0	0	0	0	0	
	羽曳野市		0	0	0	0	0	0	0	0	
	富田林市		0	0	0	16	8	0	0	24	
	河内長野市		0	0	0	13	7	0	0	20	
	大阪狭山市		3 (-2)	1	0	7	3	0	0	14 (-2)	
	南河内東部	太子町	0	0	0	2	1	0	0	3	
		河南町	0	0	0	4	1	0	0	5	
		千早赤阪村	0	0	0	2	1	0	0	3	
泉 北	和泉市		4	0	0	21	10	0 (-1)	0	35 (-1)	
	高石市		0	0	0	7	3	1 (1)	0	11 (1)	
	泉大津市		0	0	0	8 (8)	3	0	0	11 (8)	
	忠岡町		2	0	0	2	1	0	0	5	
泉 南	岸和田市		1	0	0	24	0	0 (-1)	0	25 (-1)	
	貝塚市		0	0	0	0	0	1	0	1	
	泉佐野市		0	0	0	12	0	0	0	12	
	泉南市		0	0	0	9	0	1 (1)	0	10 (1)	
	阪南市		4	0	3	8	0	0	0	15	
	泉南郡	熊取町	0	0	4	5	0	0	0	9	
		田尻町	1	0	1	1	0	0	0	3	
		岬町	0	0	0	3	0	0	0	3	
私立高等学校			0	0	0	0	0	16 (-1)	0	16 (-1)	
私立中学校			0	0	0	0	6 (2)	0	0	6 (2)	
私立幼稚園			0	1	0	0	0	0	0	1	
合 計			25 (-5)	6 (3)	8 (0)	302 (3)	70 (2)	26 (1)	4 (0)	441 (4)	

## ① 本社主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
青少年赤十字全国指導者協議会総会	本社	6月28日 ～6月29日	大阪府青少年赤十字指導者協議会 副会長 上中 和則
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会役員会・総会	本社	7月5日 ～7月6日	大阪府青少年赤十字賛助奉仕団 委員長 楠 玲子

## ② 第4（近畿）ブロック主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
第4（近畿）ブロック青少年赤十字指導者協議会	日赤和歌山県支部	5月29日	大阪府青少年赤十字指導者協議会 会長 天野 久 日本赤十字社大阪府支部職員 1名

## ③ 支部主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府青少年赤十字指導者協議会	大阪赤十字会館	5月11日	委員 11人
		1月27日	*中止のため文書審議
大阪府高等学校青少年赤十字指導者協議会	大阪赤十字会館	6月10日	委員 14人
		2月16日	委員 11人
大阪府青少年赤十字指導者協議会 青少年赤十字活動推進専門委員会	大阪赤十字会館	5月19日	委員 12人
		2月16日	委員 12人
大阪府青少年赤十字指導者協議会 総合型トレーニング・センター運営委員会	大阪赤十字会館	7月22日	委員 22人 青年赤十字奉仕団 3人
		8月25日	委員 16人 青年赤十字奉仕団 3人

## ④ 高等学校青少年赤十字指導者協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府高等学校青少年赤十字 メンバーコンタクト協議会	大阪赤十字会館	6月10日	メンバー 33人、指導者 12人
		9月9日	メンバー 30人、指導者 8人
		2月10日	メンバー 28人、指導者 8人

## ⑤ 青少年赤十字賛助奉仕団主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団総会	大阪赤十字会館	5月25日	団員 12人 日本赤十字社大阪府支部 2人

## ① 本社主催

行事名	実施場所	実施期日	参加者
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)	5月25日～5月27日	岬町立深日小学校 教諭 佐武 篤
指導主事対象青少年赤十字研究会	本社	1月9日～1月10日	大阪府教育庁市町村教育室小中学校課 指導主事 胡 精吾 堺市教育委員会 指導主事 石田 愛

## ② 第4（近畿）ブロック主催

行事名	実施場所	実施期日	参加者
第4（近畿）ブロック青少年赤十字指導者研修会	和歌山県 (紀三井寺ガーデンホテルはやし)	6月23日～6月24日	阪南市立朝日小学校 教諭 金井 宏樹 阪南市立桃の木台小学校 教諭 伏見 直己 岬町立深日小学校 教諭 佐武 篤 大阪府支部職員 2名
第4（近畿）ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	大阪府支部	10月25日～10月26日	参加者 6人

## ③ 支部主催

行事名	実施場所	実施期日	参加者
大阪府青少年赤十字指導者研修会	大阪赤十字会館	5月19日	参加者 12人、スタッフ 3人
大阪府青少年赤十字指導者養成講習会	大阪赤十字会館	8月9日～8月10日	参加者 8人
大阪府青少年赤十字指導者コンベンション	大阪赤十字会館	1月27日	講演者 東京都荒川区立南千住第二中学校 齊藤 進 校長 参加者 48人

## ④ 大阪府内ブロック・市町郡指導者協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
泉南市青少年赤十字指導者研修会	泉南市立信達小学校	6月13日	参加者 177人
泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会	泉の森ホール (泉佐野市)	8月8日	参加者 45人
岸和田市青少年赤十字指導者研修会	岸和田市教育センター	7月27日	指導者 18人

## (1) 行事の開催

## ① 本社主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
青少年赤十字高校生スタディーセンター	東照館（山梨県）	3月22日～3月27日	高校生メンバー 2人

## ② 支部主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
大阪府青少年赤十字 メンバー・リーダーシップ総合型 トレーニング・センター	府立少年自然の家 (貝塚市)	7月31日～8月3日	メンバー 106人 指導者 56人 赤十字奉仕団 14人
大阪府青少年赤十字 高校生リーダーシップ・スタディー・ センター	府立少年自然の家 (貝塚市)	3月21日～3月22日	メンバー 67人 指導者 20人 赤十字奉仕団 9人

## ③ 大阪府内ブロック・市町郡協議会・高等学校協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会 新メンバー歓迎会	大阪赤十字会館	7月15日	メンバー 28人 指導者 6人
泉北ブロック青少年赤十字 リーダーシップトレーニング・センター	大阪市立信太山青少年野外センター青少年の家 (和泉市)	7月25日～7月27日	メンバー 84人 指導者 83人
和泉市中学校青少年赤十字 トレーニング・センター	和泉市立青少年の家	8月21日	メンバー 35人 指導者 18人
泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会	台風のため中止	9月5日	台風のため中止
岸和田市ブロック別リーダー交流会	岸和田市内小学校 (24校)	12月～2月	各小学校児童会代表者 192人
泉北ブロック青少年赤十字のつどい	とろしひプラザ	12月1日	メンバー 16人 指導者 14人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会 ボランティア活動体験学習	大阪赤十字会館	12月16日	メンバー 30人 指導者 8人
高校生メンバーによる献血呼びかけ活動	府内献血ルーム および献血バス	12月17日 12月18日 12月26日	メンバー 130人
堺市青少年赤十字のつどい	堺市役所本館	1月26日	メンバー 60人 指導者 30人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会 お別れ会	大阪赤十字会館	3月3日	メンバー 43人 指導者 4人

### 3. 国際交流

#### 本社／第4（近畿）ブロック主催

行事名	場所	実施期日	派遣者
第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業（派遣）	マレーシア赤新月社	8月16日～8月22日	メンバー 12人（うち大阪2人） 指導者等 8人（うち大阪より 青年赤十字奉仕団1人）
青少年赤十字国際交流事業	大阪府内	11月16日～11月22日	ネパール2人、クック諸島2人、タイ1人 大阪国際滝井高等学校、泉南市立信達小学校
青少年赤十字ギャザリング	大阪赤十字会館	11月17日	ネパール2人、クック諸島2人、タイ1人、 高校生メンバー 24人 (高校) 指導者 7人 青年赤十字奉仕団 8人
JRC/RGY International Meeting,"Tokyo 2018"	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）	11月22日～11月25日	ネパール2人、クック諸島2人、タイ1人、 高校生メンバー 1人
青少年赤十字海外スタディーツアー	ネパール共和国	12月22日～12月29日	メンバー 9人 指導者 2人

#### (2) 体験学習プログラムの実施

学習項目	実施対象と回数		実施期間	実施内容
健康・安全プログラム（救急法を含む）	小学校	14回	通年	救命手当短時間 1回 けがの予防と応急手当 4回 着衣泳 12回 献血セミナー 2回 救命短期 16回 応急短期 1回
	中学校	4回		
	高校	3回		
	教員	15回		
	計36回			計 2,260人
介護体験プログラム	小学校	25回	通年	車椅子体験 29回 ガイドヘルプ体験 4回 高齢者疑似体験 0回
	中学校	8回		
	高校	0回		
	教員	0回		
	計33回			計 3,163人
国際理解・平和学習プログラム	小学校	4回	通年	地雷・世界の子どもたちの現状・国際赤十字の援助・平和、 キャリア教育、SDGsについてなど
	中学校	0回		
	高校	5回		
	教員	0回		
	計9回			計 1,274人
防災プログラム	小学校	7回	通年	災害時の心構え、炊き出し体験、「まもるいのちひろめるぼうさい」など
	中学校	4回		
	高校	2回		
	教員	3回		
	計16回			計 2,194人

## (3) 募金活動などの状況

行 事 名	実 施 期 間	成 果
大阪府青少年赤十字 愛のひとにぎり心もち運動	11月15日 ～12月14日	募金総額 478,269円 実施校園所 88校園所 ●年末たすけあい 237,691円 ●海外たすけあい 240,578円

募金活動	実 施 校	成 果
一円玉募金	田尻町立小学校、大阪市立福小学校、樟蔭高等学校	14,696円



ネバールのJRCメンバーと国際交流

**目的** 児童・生徒が、自分やまわりの人の健康と安全に関する関心を高め、具体的な知識と技術を学ぶことにより、健康を維持、増進し、疾病や事故を予防、回避する行動がとれるようになるとともに、万一の事故に際しては適切な行動が取れるようになること。

**種別** ① けがの予防と応急手当／救命手当短時間

小学生低学年（初級コース45分～90分）【45分（1単位）×2】

小学生高学年（中級コース45分～135分）【45分（1単位）×3】

中学生（上級コース50分～200分）【50分（1単位）×4】

② 着衣泳

小学生低学年（初級コース45分～90分）【45分（1単位）×2】

小学生高学年（中級コース45分～90分）【45分（1単位）×2】

中学生（上級コース50分～100分）【50分（1単位）×2】

③ 献血セミナー

小学校低～高学年、中学生

**対象** 小学生、中学生、高校生（救急法短期講習）、教職員（救急法短期講習）

**方法** ア) 資材貸出

イ) 赤十字水上安全法指導員を派遣（水の事故）

※高校生・指導者については救急法講習として実施

ウ) 献血セミナー（健康な身体づくり）＊講義のみ

### ●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所		種別：中級コース	人数（人）
1	大阪市立森之宮小学校	7月5日	着衣泳	36
2	堺市立土師小学校	7月6日	着衣泳	90
3	堺市立若松台小学校	7月9日	着衣泳	50
4	富田林市立彼方小学校	7月10日	着衣泳	211
5	堺市立三原台小学校	7月10日	着衣泳	156
6	堺市立上神谷小学校	7月12日	着衣泳	74
7	堺市立宮園小学校	7月12日	着衣泳	36
8	守口市立さくら小学校	7月13日	着衣泳	86
9	四條畷市立忍ヶ丘小学校	7月13日	着衣泳	150
10	箕面市立東小学校	7月17日	着衣泳	85
11	堺市立美木多小学校	7月19日	着衣泳	113
12	泉北ブロック青少年赤十字トレーニング・センター	7月26日	けがの予防と応急手当	120
13	大阪府青少年赤十字トレーニング・センター	8月2日	けがの予防と応急手当	52
14	堺市青少年赤十字のつどい	1月26日	献血セミナー	60
				小計 1,319

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	月	種別：上級コース	人数(人)
1	大阪府青少年赤十字トレーニング・センター	8月2日	けがの予防と応急手当	5
2	和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター	8月21日	救命手当短時間	35
3	門真市立第七中学校	9月7日	着衣泳	122
4	大阪市立東陽中学校	11月10日	救命手当短時間	106
小計				268

●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	月	種別	人数(人)
1	大阪府青少年赤十字トレーニング・センター	8月2日	救急法短期講習（応急）	49
2	大阪府青少年赤十字スタディー・センター	3月21日	献血セミナー	67
3	大阪府青少年赤十字スタディー・センター	3月22日	救急法短期講習（救命）	67
小計				183

●対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	月	種別	人数(人)
1	阪南市立舞小学校	5月12日	救急法短期講習（救命）	30
2	大阪狭山市立東小学校	5月15日	救急法短期講習（救命）	55
3	泉南市立一丘小学校	6月3日	救急法短期講習（救命）	30
4	堺市立宮園小学校	6月4日	救急法短期講習（救命）	21
5	守口市立さくら小学校	6月4日	救急法短期講習（救命）	27
6	堺市立若松台小学校	6月11日	救急法短期講習（救命）	23
7	堺市立福泉上小学校	6月12日	救急法短期講習（救命）	29
8	高石市立羽衣小学校	6月13日	救急法短期講習（救命）	20
9	東大阪市立長瀬東小学校	6月13日	救急法短期講習（救命）	47
10	守口市立八雲東小学校	6月15日	救急法短期講習（救命）	28
11	大阪市立岸里小学校	6月19日	救急法短期講習（救命）	30
12	守口市立第一中学校	6月22日	救急法短期講習（救命）	25
13	阪南市上荘小学校	6月22日	救急法短期講習（救命）	15
14	高石市立取石小学校	6月27日	救急法短期講習（救命）	42
15	清明学院高等学校	7月2日	救急法短期講習（救命）	68
小計				490

実施回数	36回	合計	2,260
------	-----	----	-------

**目的** 児童・生徒が、介護の仕方を体験学習することにより、自分の住む地域や学校生活を深く見つめなおすし、高齢者や障がいを持つ人たちとの心のバリアを取り除き、できることから取り組む態度を身につけることによって、思いやりや助け合いの心を育み、人にやさしく共に生きる社会を目指す。

- 種別**
- ① 車椅子の操作と介助方法
  - ② ガイドヘルプ体験と介助方法
  - ③ 高齢者疑似体験

**対象** 小学生（4年～6年生）、中学生、高校生

**方法** 資材貸出（車いす、アイマスクセット、高齢者疑似体験セット）

#### ●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	月日	種別	人数(人)
1	岸和田市立八木小学校	6月6日～6月8日	車イス	99
2	四條畷市立くすのき小学校	6月21日～6月21日	車イス	71
3	守口市立八雲小学校	6月22日～6月29日	車イス	59
4	河内長野市立楠小学校	9月21日～9月21日	車イス	76
5	堺市立樅小学校	9月26日～9月28日	車イス	129
6	守口市立守口小学校	10月9日～10月10日	車イス	108
7	守口市立さくら小学校	10月11日～10月11日	車イス	85
8	田尻町立小学校	10月12日～10月17日	車イス	89
9	堺市立上野芝小学校	10月22日～10月22日	車イス	114
10	阪南市立朝日小学校	10月24日～10月24日	車イス	61
11	泉南市立信達小学校	10月29日～11月2日	車イス	144
12	守口市立さつき学園	11月2日～11月16日	ガイドヘルプ	73
13	河内長野市立南花台小学校	11月7日～11月8日	車イス	52
14	守口市立さつき学園	11月9日～11月16日	車イス	73
15	守口市立錦小学校	11月16日～11月20日	車イス	114
16	守口市立錦小学校	11月16日～11月20日	ガイドヘルプ	114
17	堺市立白鷺小学校	11月21日～11月22日	車イス	62
18	東大阪市立八戸の里	11月27日～11月30日	車イス	69
19	守口市立庭窪小学校	12月6日～12月6日	車イス	5
20	大阪市立真田山小学校	12月7日～12月7日	車イス	158

No	依頼先学校名等・場所	月日	種別	人数(人)
21	河内長野市立美加の台小学校	12月13日～12月13日	車イス	44
22	阪南市立尾崎小学校	1月30日～2月1日	車イス	54
23	岸和田市立旭小学校	2月5日～2月6日	車イス	106
24	阪南市立桃の木台小学校	2月7日～2月8日	車イス	86
25	阪南市立舞小学校	2月12日～2月14日	車イス	46
				小計 2,136

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	月日	種別	人数(人)
1	四條畷市立田原中学校	10月25日～10月26日	車イス	138
2	四條畷市立田原中学校	10月25日～10月26日	ガイドヘルプ	138
3	守口市立さつき学園	11月2日～11月16日	ガイドヘルプ	57
4	守口市立さつき学園	11月5日～11月6日	車イス	57
5	門真市立第七中学校	1月17日～1月17日	車イス	121
6	門真市立第五中学校	1月23日～1月23日	車イス	159
7	東大阪市立新喜多中学校	3月6日～3月7日	車イス	142
8	東大阪市立枚岡中学校	3月13日～3月15日	車イス	215
				小計 1,027

実施回数

33回

合計 3,163



三角巾を使った応急手当



着衣泳で水の事故防止



AEDを用いた救命手当

**目的** 児童・生徒が、世界の出来事を知ることにより、自分の住む地域や学校生活をより深く見つめなあし、「地域の中で生かされる自分の発見」と、できることから取り組む態度を身に付け、思いやりや助け合いの心を育み、人にやさしく共に生きる社会を目指す。

- 種別**
- ①国際理解学習
  - ②平和学習
  - ③国際人道法学習
  - ④キャリア教育
  - ⑤SDGsと赤十字

**対象** 小学生、中学生、高校生

- 方法**
- ア) 赤十字職員を派遣
  - イ) 資材貸出（水がめ、地雷模型等）

#### ●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	月	種別	人数(人)
1	阪南市立尾崎小学校	8月3日	国際理解・平和学習	323
2	堺市立福泉小学校	10月25日	国際理解・平和学習	210
3	大阪市立真田山小学校	12月21日	国際理解・平和学習	146
4	和泉市立青葉はつなが野小学校	2月14日	国際理解・平和学習	41
				小計 720

#### ●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	月	種別	人数(人)
1	滋賀県立国際情報高等学校	7月11日	国際理解・平和学習	271
2	関西学院千里国際高等部	11月6日	SDGsと赤十字	11
3	インターフラッグクラブ年次大会	11月4日	国際理解・平和学習	161
4	関西学院千里国際高等部	2月19日	SDGsと赤十字	20
5	大阪国際滝井高等学校	3月18日	キャリア教育	91
				小計 554

実施回数	9回	合計	1,274
------	----	----	-------

## (1) 防災プログラム

**目的** 児童・生徒が、災害による被害を軽減するための基本的な防災知識・技術を学習することにより、自分の住む地域や学校生活を深く見つめなおし、命の大切さや命を守る行動をする気持ちを育み、子どもから大人、大人から地域へ防災の輪が広がっていくことを目指す。

- 種別**
- ①災害の備え
  - ②炊き出し体験
  - ③身近な物を使った応急手当

**対象** 小学生、中学生、高校生

**方法** 赤十字防災ボランティアを派遣

## (2) 防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」

**目的** 児童・生徒が、自然災害に対する正しい知識をもち、自ら考え、判断し、身を守る行動を取れるよう主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることで他者への思いやり、優しさやいのちの大切さを学ぶ。

**対象** 小学生、中学生、高校生

**方法** 防災講義（防災教材の使い方講習など）、防災教材貸出（DVDのみ、CD-Rのみの貸出も可）

## ●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	月	種別	人数(人)
1	和泉市立北松尾小学校	8月25日	身近な物を使った応急手当	30
2	大阪市立清水小学校	9月1日	身近な物を使った応急手当	56
3	大東市立諸福小学校	9月5日	防災教材貸し出し	814
4	阪南市立尾崎小学校	10月21日	防災教材貸し出し	323
5	大阪市立都島小学校	1月19日	身近な物を使った応急手当	65
6	大阪市立中野小学校	1月19日	身近な物を使った応急手当	78
7	阪南市立朝日小学校	1月18日	防災教材貸し出し	20
				小計 1,386

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	月	種別	人数(人)
1	和泉市立郷荘中学校	5月25日	身近なものを使った応急手当	201
2	和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター	8月21日	身近なものを使った応急手当	35
3	大阪市立大池中学校	10月13日	身近なものを使った応急手当	92
4	大阪市立生野中学校	12月1日	身近なものを使った応急手当	92
			小計	420

4

青少年  
赤十字

●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	月	種別	人数(人)
1	大阪市立扇町総合高等学校	5月23日	身近なものを使った応急手当	50
2	大阪府立成城高等学校定時制の課程	2月14日	身近なものを使った応急手当	34
			小計	84

●対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	月	種別	人数(人)
1	府立学校保健主事研修会	11月27日	防災講義	150
2	大阪府立成城高等学校定時制の課程	1月23日	防災講義	23
3	公立小中学校教頭会	2月15日	防災講義	131
			小計	304

実施回数 16回

合計 2,194



レジ袋や雑誌、ネクタイ等身近なものを使った応急手当

# 5 救急法などの講習

## 1 救急法

日常生活における事故防止の知識と、思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を医師や救急隊に引き継ぐまでの救命手当や応急手当の知識と技術を学ぶ講習を実施しました。

5

救急法などの講習

種 別	開催回数（回）（主催者別内訳） <sup>*1</sup>								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	1	0	0	0	0	0	0	1	15
基礎	18	11	0	14	10	0	1	54	1,750
救急員養成	12	8	0	7	0	0	0	27	1,063
資格継続	10	0	0	0	0	0	0	10	210
短期講習	4	19	0	44	37	26	39	169	7,110

## 2 水上安全法

水を活用した健康の増進、水の事故防止と自分自身の安全を保ちながら安心して楽しく水と関わることを基本に、水の事故に遭った際の対処方法や救助技術などについて学ぶ講習を実施しました。

種 別	開催回数（回）（主催者別内訳） <sup>*1</sup>								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員Ⅰ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指導員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救助員Ⅰ養成	3	0	0	1	0	0	0	4	94
救助員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資格継続	2	0	0	0	0	0	0	2	26
短期講習	1	2	0	22	2	1	2	30	2,593

### 3 健康生活支援講習

介護予防などの知識と技術、高齢者に起こりやすい事故の予防と手当・急病への対応、地域における高齢者支援、要介護高齢者に対する自立に向けた介護の考え方やその具体的な知識と技術などを学ぶ講習を実施しました。

種 別	開催回数(回) (主催者別内訳) <sup>*1</sup>								受講者数(人)
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援員養成	6	14	0	0	0	0	0	20	408
資格継続	2	0	0	0	0	0	0	2	7
短期講習	災害時高齢者生活支援	7	11	10	0	1	2	0	31
	上記以外	10	15	7	0	3	2	0	1,176

※1 赤施…赤十字関係施設、赤団…赤十字関係団体、地…地域、学…学校、企…企業、公…公的団体、他…その他

### 4 幼児安全法

乳幼児期に起こりやすい事故と予防、手当の方法、かかりやすい病気と看病のしかた、災害時の支援などの知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種 別	開催回数(回) (主催者別内訳) <sup>*1</sup>								受講者数(人)
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	1	0	0	0	0	0	0	1	10
支援員養成	6	0	0	1	0	0	0	7	202
資格継続	3	0	0	0	0	0	0	3	18
短期講習	5	12	4	22	9	32	0	84	2,208

いざという時に自分自身や家族のいのちを守り、地域のみんなで助け合える社会を目指すため、講義と身近なものを使った応急手当などの実技を組み入れた講習を実施しました。

種 別	講習回数（回）（主催者別内訳） <sup>*1</sup>								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
「赤十字防災啓発プログラム」講習	5	19	15	3	5	0	13	60	2,514

### 項目別内訳

種 別	講習回数（回）								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
講義	2	18	15	3	5	0	13	56	971
実技	心肺蘇生とAEDの使い方	0	0	3	0	0	0	3	127
	三角巾による手当	0	0	0	1	0	0	1	33
	身近なものを使った応急手当	4	4	9	2	4	0	25	939
	DIG（地域防災マップ作り）	0	4	1	0	0	0	5	123
	災害エスノグラフィー	0	1	0	0	0	0	1	22
	避難所での生活支援	2	4	3	0	0	0	10	455
	炊き出し体験	0	1	0	0	0	0	1	38
	実技合計	6	14	16	3	4	0	46	1,737

※講習内容に「講義のみ」、「講義と実技」、「実技のみ（イベント等）」の場合があるため、講習実施合計数と内訳数は一致しないこと。

名称	日時	会場	協力	内容
親子で体験！着衣泳	8月5日(日) 13:30～15:30	あおとりウイングス スポーツクラブ	あおとりウイングス スポーツクラブ 赤十字水上安全法指導員 大阪府教育委員会(後援) 大阪市教育委員会(後援) 堺市教育委員会(後援)	水の事故から身を守る方法の普及を目的に、衣服を着た状態で水の中で浮いて助けを待つ「着衣泳」を親子で体験するイベントを行いました。
親子で学ぼう！心肺蘇生	8月18日(土) 10:00～12:00 14:00～16:00	大阪赤十字会館	赤十字救急法指導員 大阪府教育委員会(後援) 大阪市教育委員会(後援) 堺市教育委員会(後援)	一次救命処置の正しい知識と技術の普及を目的に、親子で心肺蘇生を体験するイベントを行いました。

# 6 医療事業

大阪・高槻両赤十字病院は、人道（博愛）の赤十字精神に基づき、安全で良質の医療を提供しています。また、地域の医療機関と連携し、地域完結型の医療を支えるために、病院と診療所などが一体となって地域に根差した医療を推進していきます。

また、両病院は、災害発生時に被災地へ医療救護班を迅速に派遣できる救護体制を整備しています。

## 大阪赤十字病院

- ・診療科目数 : 36科
- ・指定医療機関認定数 : 36 (災害拠点病院など)
- ・特色ある診療施設 : 救命急救センター、心臓血管センター、健診センター、外来通院治療センター、脳卒中センター、アレルギーセンター、治験・臨床研究管理センター、がん診療センター、患者総合支援センター
- ・許可病床数 : 964床 (本院一般862床、精神42床、大手前整肢学園60床)

## 高槻赤十字病院

- ・診療科目数 : 23科
- ・指定医療機関認定数 : 26 (地域支援病院など)
- ・特色ある診療施設 : 緩和ケア専門病棟(別棟)・訪問看護ステーション
- ・許可病床数 : 446床

1

## 業務実績

大阪赤十字病院 ※( ) 内は前年度増減率

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	対前年度比較	紹介率	逆紹介率
入院	269,317人	-5,686人(2.1%減)	737.9人	-15.5人(2.1%減)		
外来	451,489人	+227人(0.1%増)	1858.0人	+1.0人(0.1%増)	80.2%	110.4%

高槻赤十字病院 ※( ) 内は前年度増減率

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	比較	紹介率	逆紹介率
入院	104,112人	+352人(0.3%増)	285.2人	+0.9人(0.3%増)		
外来	146,330人	-6,968人(4.5%減)	559.7人	-31.2人(4.9%減)	76.1%	58.7%

2

## 支部による整備費 (救護用医療機器及び救急医療体制の整備)

- (1) 大阪赤十字病院 超音波診断装置 13,667,400円
- (2) 高槻赤十字病院 超音波診断装置 15,422,093円

# 7 看護師などの教育

当支部管内には、災害救護要員の確保とともに医療施設要員の充足を図るため、大阪赤十字看護専門学校を設置しています。

赤十字の理念を基調とし、豊かな人間性を育み、幅広い能力を備えた看護師としての基本的な教育に加えて、「赤十字概論」「災害看護」「赤十字救急法」など特色のある教育を実施しています。

また、国内外で活躍できる優秀な看護師の質的な充実、高度化を目的として、日本赤十字看護大学、日本赤十字社幹部看護師研修センターへの養成委託の推進を図っています。

## 1 大阪赤十字看護専門学校

### (1) 学生の内訳

区分	1年生（111回生）	2年生（110回生）	3年生（109回生）	計
生徒数	48人	46人	29人	123人

(2) 支部による救護看護師養成経費 16,223,000円

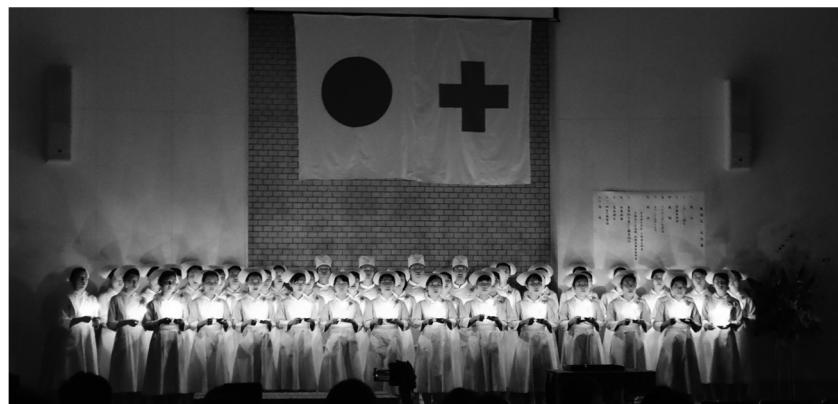
## 2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与

(1) 人 数 11人 ※年額60万円を貸与

(2) 貸与金額 6,600,000円（支部負担額は3,300,000円）

### (3) 貸与生の内訳

1年生	2年生	3年生	4学年	計
5人	4人	1人	1人	11人



大阪赤十字看護専門学校 戴帽式

# 8 社会福祉

## 1 大手前整肢学園

大手前整肢学園は、医療法に基づく病院と児童福祉法及び障害者総合支援法に基づく社会福祉施設の機能を併せ持つ施設です。医療・リハビリ・福祉・教育などの専門職が連携して総合的な療育を提供し、様々な障がいを持つ方とその家族が豊かで健康的な生活をあぐれるよう支援しています。

事業内容	利用者延数(人)	1日平均利用者数(人)
医療型障がい児入所施設 (肢体不自由児・重症心身障がい児)	15,362	42.1
療養介護 (肢体不自由者・重症心身障がい者)	3,552	9.7
医療型児童発達支援	2,281	9.3

事業内容	利用者件数(件)
保育所等訪問支援	18
相談支援事業（障害児相談支援・計画相談支援）	85

## 2 支部による整備費（社会福祉施設の整備）

感覚統合遊具セット 1,359,391円

## 3 訪問看護ステーション

高槻赤十字病院内に開設した同ステーション（平成7年開設）では、病気や障害を持つ人が住み慣れた地域や家庭で、安心して療養生活を送るように、看護師等医療スタッフが訪問し、主治医の指示に基づいて療養上の世話や診療の補助を行います。

利用者延数（人）	892
24時間体制電話利用延回数（回）	127
訪問延回数（回）	4,983

# 9 血液事業

血液事業は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(平成15年7月30日施行)に基づき、各市町村献血推進協議会及び各種献血協力団体の理解と協力を得ながら大阪府赤十字血液センターをはじめ府内11カ所の献血施設と移動採血車で献血の受入を行い、医療機関へ血液製剤を供給しています。

血液製剤を過不足なく安定的に供給するため、需要動向を的確に把握し大阪府、当支部、血液センター、市町村が連携して献血者の確保に努めるとともに、将来の献血基盤となる若年層に対しては、夏のキャンペーン(愛の血液たすけあい運動7～8月)、冬のキャンペーン(クリスマス及びはたち12～2月)、LOVE in Actionプロジェクト(通年)を展開し、併せて小学生とその保護者を対象に「献血あもしろゼミナール」(夏休み)を開催するなど、献血の啓発活動に努めています。

## 1 献血状況累計

献血状況累計							
献血ルーム	施設/採血方法 (構成比率)	200mL (3.3%)	400mL (68.5%)	成分 (28.2%)	合計 (100%)	目標数	達成率 (%)
	血液センター(森之宮・南大阪)	187	6,451	8,662	15,300	15,428	99.2%
	採血車	5,917	113,171	0	119,088	131,329	97.9%
	オープン	512	8,918	0	9,430		
	門真献血ルーム	172	18,145	0	18,317	17,764	103.1%
	阪急グランドビル25献血ルーム	1,412	22,503	21,333	45,248	44,720	101.2%
	あべの献血ルームKiZooNa	1,223	21,655	18,980	41,858	41,978	99.7%
	西梅田献血ルーム	320	12,800	11,937	25,057	26,162	95.8%
	まいどなんば献血ルーム	418	18,754	10,358	29,530	26,110	113.1%
合計(人)		12,386	253,856	104,584	370,826	372,543	99.5%
(前年度献血者数)				375,143人	(対前年比)		98.8%

9

血液事業

## 2 血液製剤の供給本数

血液製剤の供給本数					
区分	血小板	血漿	赤血球	全血	合計
供給本数	61,714	89,869	274,175	0	425,758

## 3 支部による整備費(採血受入機関の整備)

### (1) 採血受入機関整備費

血液運搬車 1台 2,500,000円

# 10 活動資金の募集

## 1 財政基盤の強化

日本赤十字社では、5月1日から全国一斉に「赤十字運動月間」を展開し、赤十字の理念と活動内容をより多くの皆さんに知っていただくとともに、活動資金のご協力をお願いしています。

当支部では、5月、6月の2カ月間に拡大して赤十字運動を展開し、平成30年度は経済的に厳しい状況の中、活動資金募集目標額8億6千万円に対し、府民の皆さんのご支援とご協力、また地域赤十字奉仕団や地区・分区関係者の努力をもって、7億7,925万余円という実績を収めることができました。

## 2 活動資金（社資）募集実績表

（平成30年度）

（単位：円）

地区分区名	目標額	実績額	内訳			
			一般社資		ダイレクトメール（DM）	
			地区（地域）	支部	法人	個人
北 地 区	30,054,000	14,577,744	6,092,506	3,684,964	3,772,274	1,028,000
都 島 地 区	10,283,000	6,659,665	4,968,665	1,095,000	371,000	225,000
福 島 地 区	9,610,000	6,078,750	5,097,750	273,000	451,000	257,000
此 花 地 区	5,522,000	3,878,500	3,500,500	205,000	148,000	25,000
中 央 地 区	37,008,000	11,882,651	4,587,200	1,670,685	4,772,766	852,000
西 地 区	15,783,000	5,606,923	2,000,000	1,553,747	1,820,176	233,000
港 地 区	7,316,000	7,753,917	6,164,242	473,000	731,000	385,675
大 正 地 区	5,184,000	7,246,600	5,248,600	553,000	1,196,000	249,000
天 王 寺 地 区	10,076,000	3,364,894	1,499,394	905,000	740,000	220,500
浪 速 地 区	8,480,000	4,662,750	3,257,600	282,650	962,000	160,500
西 淀 川 地 区	8,096,000	8,342,505	5,741,505	492,000	1,993,000	116,000
淀 川 地 区	20,410,000	13,471,105	8,578,894	966,211	2,342,000	1,584,000
東 淀 川 地 区	15,488,000	14,280,910	12,508,910	927,000	416,000	429,000
東 成 地 区	7,652,000	10,919,233	9,366,233	696,000	718,000	139,000
生 野 地 区	10,439,000	12,879,232	10,285,226	776,188	504,000	1,313,818
旭 地 区	7,638,000	8,322,896	6,680,396	939,500	309,000	394,000
城 東 地 区	14,204,000	15,193,630	11,766,286	420,000	2,391,344	616,000
鶴 見 地 区	9,050,000	10,374,785	8,508,685	457,100	1,321,000	88,000
阿 倍 野 地 区	11,736,000	9,125,547	7,502,837	1,015,000	500,710	107,000
住 之 江 地 区	10,182,000	4,884,150	3,628,210	601,940	446,000	208,000
住 吉 地 区	12,726,000	8,252,778	7,124,206	691,000	185,784	251,788
東 住 吉 地 区	10,634,000	7,998,142	6,656,737	604,405	458,000	279,000
平 野 地 区	14,957,000	10,676,558	8,210,958	1,205,000	537,000	723,600
西 成 地 区	7,472,000	4,824,305	3,684,305	473,000	314,000	353,000
小計（大阪市）	300,000,000	211,258,170	152,659,845	20,960,390	27,400,054	10,237,881

(単位：円)

地区分区名	目標額	実績額	内訳			
			一般社資		ダイレクトメール(DM)	
			地区(地域)	支部	法人	個人
堺市堺区地区	14,142,000	7,462,606	6,185,087	560,213	538,306	179,000
堺市中区地区	7,345,000	5,818,461	5,033,461	198,000	175,000	412,000
堺市東区地区	7,684,000	5,275,727	4,679,727	458,000	55,000	83,000
堺市西区地区	11,381,000	11,016,978	7,019,713	1,804,000	1,464,000	729,265
堺市南区地区	10,512,000	5,779,589	4,717,089	622,500	60,000	380,000
堺市北区地区	12,087,000	6,191,541	4,583,041	376,000	600,000	632,500
堺市美原区地区	3,549,000	3,711,909	3,297,613	146,296	215,000	53,000
小計(堺市)	66,700,000	45,256,811	35,515,731	4,165,009	3,107,306	2,468,765
岸和田市地区	9,698,000	7,297,726	5,998,726	757,000	350,000	192,000
豊中市地区	25,330,000	16,132,299	14,057,299	1,048,000	478,000	549,000
池田市地区	6,681,000	2,947,367	2,250,185	450,000	150,000	97,182
吹田市地区	24,096,000	14,715,081	8,415,110	2,695,000	695,089	2,909,882
泉大津市地区	4,071,000	5,263,192	2,553,192	130,000	2,565,000	15,000
高槻市地区	20,403,000	18,173,446	14,304,346	2,184,100	341,000	1,344,000
貝塚市地区	4,367,000	4,524,976	4,097,300	323,000	99,676	5,000
守口市地区	8,151,000	15,193,123	13,782,623	580,500	649,000	181,000
枚方市地区	22,692,000	15,913,836	11,833,336	1,778,000	449,500	1,853,000
茨木市地区	16,841,000	13,549,509	11,168,509	1,325,000	400,000	656,000
八尾市地区	14,785,000	9,442,321	7,497,461	849,310	918,550	177,000
泉佐野市地区	5,248,000	5,016,046	2,609,046	188,000	187,000	2,032,000
富田林市地区	6,116,000	3,803,260	3,004,260	604,000	173,000	22,000
寝屋川市地区	12,618,000	16,445,024	15,390,024	545,000	455,000	55,000
河内長野市地区	5,890,000	3,452,037	2,836,037	415,000	191,000	10,000
松原市地区	6,085,000	4,105,617	3,754,617	191,000	130,000	30,000
大東市地区	6,679,000	7,332,046	6,973,854	179,000	99,192	80,000
和泉市地区	8,967,000	12,413,818	6,478,818	633,000	227,000	5,075,000
箕面市地区	8,763,000	9,014,680	7,663,196	806,484	200,000	345,000
柏原市地区	3,937,000	4,637,289	4,106,999	210,290	260,000	60,000
羽曳野市地区	6,003,000	6,563,929	5,162,929	139,000	102,000	1,160,000
門真市地区	6,798,000	4,419,001	3,795,501	285,500	300,000	38,000
摂津市地区	5,076,000	5,178,332	4,238,332	385,000	460,000	95,000
高石市地区	3,256,000	2,446,535	1,980,535	329,000	110,000	27,000
藤井寺市地区	3,568,000	3,080,469	2,479,469	468,000	10,000	123,000
東大阪市地区	28,102,000	28,655,825	20,426,282	1,912,317	5,375,493	941,733
泉南市地区	2,827,000	2,194,780	1,996,780	133,000	50,000	15,000
四條畷市地区	2,906,000	4,007,072	3,871,072	36,000	90,000	10,000
交野市地区	4,179,000	6,025,808	5,761,808	145,000	91,000	28,000
大阪狭山市地区	3,386,000	2,833,813	2,325,613	175,200	150,000	183,000
阪南市地区	2,696,000	2,594,093	2,385,093	49,000	20,000	140,000
島本町分区	1,752,000	1,444,385	1,291,385	143,000	0	10,000
豊能町分区	1,235,000	811,820	681,820	100,000	10,000	20,000
能勢町分区	537,000	571,792	566,792	5,000	0	0
忠岡町分区	846,000	1,048,260	1,021,260	17,000	0	10,000
熊取町分区	2,224,000	2,523,145	2,251,145	222,000	50,000	0
田尻町分区	425,000	416,427	414,427	2,000	0	0
岬町分区	898,000	831,359	751,359	70,000	10,000	0
太子町分区	693,000	795,400	735,400	60,000	0	0
河南町分区	856,000	1,249,240	1,229,240	0	20,000	0
千早赤阪村分区	319,000	923,295	723,295	200,000	0	0
小計(衛星都市郡部)	300,000,000	267,987,473	212,864,475	20,767,701	15,866,500	18,488,797
地区分区	666,700,000	524,502,454	401,040,051	45,893,100	46,373,860	31,195,443
支部	193,300,000	254,756,966	—	202,570,803	20,910,432	31,275,731
総計	860,000,000	779,259,420	401,040,051	248,463,903	67,284,292	62,471,174

### 3

## 会員数

個人	法人	合計
5,806人	2,584社	8,390(人・社)

### 4

## 日赤地区分区事務担当者等会議・研修会

実施日	名称	会場	参加人数(人)
4月10日	日赤地区分区事務担当者説明会	大阪赤十字会館	39
1月24日	日赤地区分区事務担当者研修会	大阪赤十字会館	35
2月20日	日赤大阪衛星都市郡部地区分区事務連絡会	大阪赤十字会館	27



吹田市街頭広報活動

# 11 赤十字の広報

赤十字の活動は、皆様からいただく貴重な活動資金をもとに行われていることから、積極的かつ効果的な広報活動に努めています。

当支部では、5月・6月の「赤十字運動月間」を中心に、各地区・分区を通じて機関紙の配布や回覧、ホームページやSNSなどの各種広報媒体を有効に活用し、赤十字の基本理念や活動内容を紹介することで、より一層赤十字への理解と協力を求めていきます。

また、日赤第4ブロック各府県支部合同事業として、鉄道広告、テレビ・ラジオスポット放送による広域的な広報活動も併せて実施しています。

## 1 広報物の作成

資材名	資材区分	作成数（部）	活用方法
日赤大阪 (通常版)	広報資材	24,872	・有功会員や管内施設へ配布 ・各種イベント時に配布
	活動資金 募集資材	103,000	・会員へのダイレクトメールに同封
日赤大阪 (地区・分区用)	活動資金 募集資材	576,928	・地区分区から地域へ配布、回覧
日赤大阪 (振込用紙付き)	広報資材	1,120,000	・大阪市、堺市、門真市の讀賣・朝日・毎日・産経・日経新聞に折り込み
ポケットティッシュ	広報資材	279,000	・支部や地区分区のイベントなどで配布
事業報告書	広報資材	1,100	・平成28年度版、支部HPに公開
事業計画	広報資材	1,200	・平成29年度版、評議員会用資料、支部HPに公開
私たちの想い	広報資材	10,500	・前年度支援者に配布 ・大阪府赤十字大会などで配付
赤十字運動月間の 依頼用チラシ	活動資金 募集資材	213,500	・地区分区から地域へ回覧
赤十字運動月間の お礼用チラシ	活動資金 募集資材	46,988	・地区分区から地域へ回覧
赤十字カレンダー	記念品	4,350	・大阪府赤十字大会などで配付

## (1) テレビ放送

会社名	CMの種類	放送回数 (回)	無償放送依頼期間
毎日放送	赤十字運動月間 ショートムービー ミラクルヒーローズ（15秒）	45	5月1日～3月31日
朝日放送テレビ		118	
関西テレビ放送		17	
讀賣テレビ放送		6	
テレビ大阪		119	
ジュピターテレコム		100	
阪急電鉄株式会社	同（30秒）	600	

※ 放送回数は5月1日～6月30日の実績。

※ 阪急電鉄株式会社には、阪急梅田駅構内BIGMANでの放送実績。



## (2) ラジオ放送

会社名	周波数	CMの種類	放送回数 (回)	無償放送依頼期間
毎日放送	AM 1179kHz FM 90.6MHz	日本赤十字社 ラジオCM 「赤十字運動月間」篇（20秒）	29	5月1日～3月31日
朝日放送	AM 1008kHz FM 93.3MHz		3	
大阪放送 (ラジオ大阪)	AM 1314kHz FM 91.9MHz		124	
エフエム大阪	FM 85.1kHz		182	
FM 802	FM 80.2kHz		7	
FMCOCOLO	FM 76.5MHz		14	

※ 放送回数は5月1日～6月30日の実績。

## (3) 駅貼りポスター

会社名	ポスターの種類	掲出数(枚)	掲出依頼期間
JR西日本 大阪支社管内 福知山支社管内含む	赤十字運動月間ポスター（B2）	129	5月1日～31日の内の 7～31日間（無償）
近畿日本鉄道		10	
阪急電鉄		54	
阪神電気鉄道 阪神電気鉄道内 神戸高速鉄道内含む		50	
京阪電気鉄道		33	
大阪市営地下鉄		140	5月16日～29日（有償）

※ 近畿日本鉄道は、デジタルサイネージでの掲出数。

## (4) 電車内ドア横（B額面）ポスターの掲出

会社名	ポスターの種類	掲出数(枚)	掲出依頼期間
JR西日本	赤十字運動月間ポスター（B3）	1,402	5月1日～31日（有償）

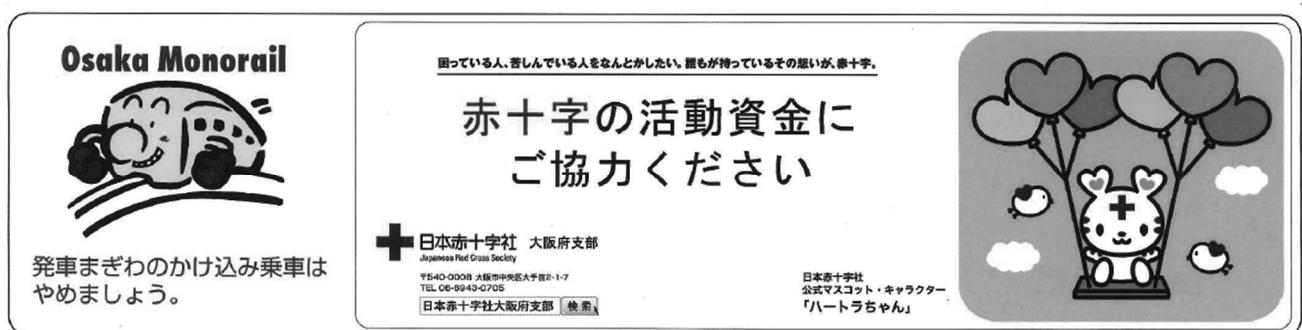
※ 快速電車の全車両に掲出。

※ 同事業は第4ブロック合同広報として実施している。

## (5) 電車内ドア横バナータイアップステッカーの掲出

会社名	広報資材の種類	掲出数(枚)	掲出依頼期間
大阪モノレール	タイアップステッカー	84	4月1日～3月31日（有償）

※ 4両編成×21編成の全84車両に1枚掲出。



電車内ドア横バナータイアップステッカー

### 3 イベントによる広報

#### (1) 地域のイベント・防災訓練等（計12回）

地域	行事名		実施日	内 容
大阪市	都島区	都島区区民まつり	9月22日	救援物資の展示・説明他
	鶴見区	鶴見区安心・安全フェスタ	10月21日	救援物資の展示・A E D 体験他
堺 市	中区	第26回中区区民フェスタ	8月19日	救援物資の展示・説明他
	北区	北区交流まつり2018	11月3日	救援物資の展示・説明他
	美原区	美原区区民まつり	11月4日	救援物資の展示・説明他
河内長野市	赤峰市民広場		5月13日	救援物資の展示・説明他
岸和田市	第9回防災安全フィールドワークキャラバン		10月20日	救援物資の展示・A E D 体験他
茨木市	茨木市安全・安心フェスタ		10月27日	救援物資の展示・説明他
高石市	高石市地震津波総合避難訓練		11月5日	救援物資の展示・説明他
富田林市	富田林市防災訓練		11月18日	救援物資の展示・説明他
藤井寺市、柏原市、羽曳野市	三市合同総合フェア		11月18日	救援物資の展示・防災P他
松原市	松原市防災総合訓練		3月17日	救援物資の展示・A E D 体験他

#### (2) 企業・団体が主催するイベント等（計4回）

主催	行事名	実施日	内 容
大阪青年会議所	第37回わんぱく相撲大会	5月3日	救援物資の展示・A E D 体験他
シュライカーダ阪事務局	Fリーグ シュライカーダ阪ホームゲーム	7月7日	救援物資の展示・A E D 体験他
	Fリーグ シュライカーダ阪チャリティマッチ	7月14日	救援物資の展示・A E D 体験他
VM ware	V Forum 2018 Osaka	12月14日	使い捨てトイレ作製体験他

### 4 その他

- ア 赤十字運動月間ポスターを各地区分区及び町内会などで掲示（約23,000枚）
- イ 各地区町村発行の広報紙に赤十字活動の記事の掲載
- ウ 支部ホームページ及びフェイスブックの活用（最新情報の発信および報告）
- エ 市区町村の庁舎及び支部社屋に赤十字運動用の幟を立てるとともに、支部社屋前掲示板でのPR
- オ DVD（私たちの想いや赤十字この一年など）の活用

# 12 赤十字思想及び 国際人道法の普及

国際人道法は、「武力紛争のもたらす不必要的犠牲や損害を防止すること」を目的としています。

赤十字思想及び国際人道法の普及は、国際赤十字・赤新月運動の重要な使命であり、まず赤十字職員が赤十字や国際人道法を知ることからはじめ、多くの方に理解・共感していくことを目指しています。

## 1 国際人道法の普及

### (1) 第4ブロック合同国際人道法普及研修の開催

主 催：日本赤十字社第4ブロック支部

対 象：第4ブロック支部施設職員、大阪府・府内各市国民保護担当者・青年／学生  
赤十字奉仕団

実施日	会 場	参加者数(人)	内 容
2月19日	大阪赤十字会館	57	国際人道法概論、赤十字標章、有事関連法と 日本赤十字社、グループワークなど

### (2) 国際人道法普及セミナーへの協力及び参加

主 催：日本赤十字社（本社）

内 容：講師として職員を派遣、受講者として職員が参加

実施日	会 場	内 容
2月26日～27日	日本赤十字社（本社）	(1) 日本赤十字社における国際人道法の普及・啓発に関する方針についての理解 (2) 国際人道法に関する最新の動向の把握 (3) 国際人道法の普及スキルの習得、向上 (4) 各支部施設における普及計画の策定 (普及の実施)

### (3) その他

- ア 新規採用職員研修における国際人道法に関する講義
- イ 国際人道法に関する講義資料の提供
- ウ ボランティアリーダー研修などにおける国際人道法に関する講義
- エ 大阪赤十字看護専門学校における国際人道法に関する講義

# 13 支部創設130周年記念にかかる取り組み

支部創設130周年を記念して、より多くの皆様に赤十字の理念や活動を伝えるために次の取り組みを実施した。

## 1 記念ロゴの作成

130周年記念ロゴを作成し、各広報誌や名刺等に掲載した。



## 2 日本赤十字社大阪府支部 創設130周年記念事業 国際人道法講座「人のいのちを守る赤十字の人道支援」の開催

主 催：日本赤十字社大阪府支部

共 催：日本赤十字国際人道研究センター

後 援：赤十字国際委員会（ＩＣＲＣ）駐日代表部

対 象：近畿二府四県を中心とした一般の方々、青少年赤十字加盟校（高校生）、各奉仕団員、ボランティアなど

実施日	会場	参加者数 (人)	内 容
平成30年10月20日	大阪赤十字会館	180	基調講演：「人道支援と赤十字」 講師：野々山忠致 元国際赤十字・赤新月社連盟 財政委員会委員 現場からの声：「激動の世界を渡り歩く～赤十字の支援活動を通して実感したアフリカ、中東の今～」 講師：渡瀬淳一郎 大阪赤十字病院 救急科部副部長兼国際医療救援部副部長
平成31年3月23日	大阪赤十字会館	120	基調講演：近衛連盟会長の人道外交とボランティアの力 講師：田中康夫 日本赤十字社 国際部長（元国際赤十字・赤新月社連盟 会長特別補佐官） 現場からの声：「家族の絆の回復」と赤十字 講師：眞壁仁美 赤十字国際委員会（ＩＣＲＣ）駐日代表部 広報統括官

### 3 記念品「ハートラちゃん ホイッスルチャーム」の作製（5,000個）

130周年記念チャームを作製し、大阪府赤十字大会や国際人道法講座等で配布した。



130周年記念チャーム

### 4 「ソルフェリーノの丘のイトスギ」植樹式の実施

平成31年4月16日にイトスギ植樹式を実施し、大阪府青少年赤十字賛助奉仕団（委員長楠玲子）から寄贈されたイトスギが、大阪赤十字会館前の社章傍に2本植樹された。



大阪府支部の新たなシンボルとなった2本のイトスギ

# 14 評議員会

評議員会は、日本赤十字社定款第71条に基づき、支部の重要な業務について審議し、支部長の諮問に答えるほか、本社代議員ならびに支部長・副支部長および監査委員の選出にあたります。

平成30年度は、次のとおり開催しました。

1

## 開催状況

期日	会場	議 案
平成30年6月11日	大阪赤十字会館 301会議室	(1) 平成29年度大阪府支部歳入歳出決算について (2) 平成29年度大阪赤十字病院歳入歳出決算について (3) 平成29年度大手前整肢学園歳入歳出決算について (4) 平成29年度高槻赤十字病院歳入歳出決算について (5) 平成29年度大阪府赤十字血液センター事業報告について
平成31年2月13日	大阪赤十字会館 301会議室	(1) 平成31年度大阪府支部事業計画案並びに歳入歳出予算案について (2) 平成31年度大阪赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について (3) 平成31年度大手前整肢学園事業計画案並びに歳入歳出予算案について (4) 平成31年度高槻赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について (5) 平成31年度大阪府赤十字血液センター事業計画案について (6) 平成31年度大阪赤十字病院歳入歳出補正予算案について (7) 平成31年度高槻赤十字病院歳入歳出補正予算案について



高杉副支部長による挨拶

# 15 赤十字大会

平成30年11月26日(月)、シェラトン都ホテル大阪において「平成30年度大阪府赤十字大会－救うこと－つづける 支部創設130周年－」を開催しました。受彰者や赤十字奉仕団員など約900人が集いました。

当日は、多額の活動資金を寄せられた篤志家ならびに業務に功労のあった奉仕者に対し、高円宮妃殿下から有功章、社長感謝状が贈られました。

## 1 表彰者の内訳

表彰名	受彰者数
金色有功章（社資功労）	52人、36法人・団体
“（業務功労）	60人
銀色有功章（社資功労）	56人、33法人・団体
“（業務功労）	76人
日本赤十字社社長感謝状（社資功労）	60人、48法人・団体
“（業務功労）	25人、51団体
支部長表彰状・感謝状（社資功労）	118人、68法人・団体
“（業務功労）[金枠]	398人
“（業務功労）[銀枠]	367人
斡旋功労感謝状	14人、1法人・団体
活動資金募集目標達成表彰状	26地区・分区
協力団体感謝状	73団体

## 2 式次第

プロローグ

「赤十字この1年 2017年度」上映

日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃殿下御臨席

開会

開会のことば

国歌斉唱

支部長式辞

有功章御授与

感謝状・表彰状贈呈

名誉副総裁高円宮妃殿下のおことば

副社長あいさつ

来賓祝辞

体験発表

「あこがれの赤十字」合唱

閉会

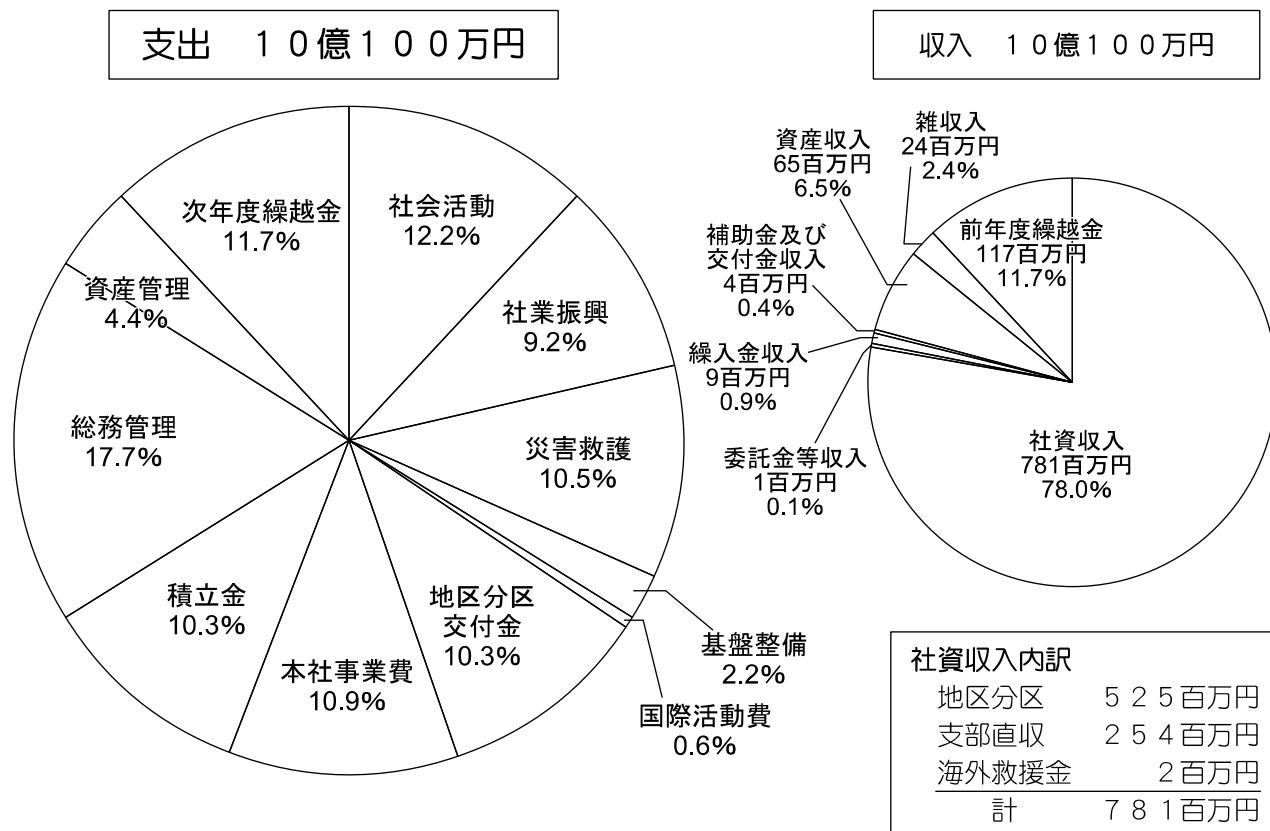
日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃殿下御退席



有功章を御授与される高円宮妃殿下

# 16 会計

## 1 活動資金の収入支出



※大阪府北部地震義援金346百万円については、収入支出に含まれておりません。（詳細は次ページ参照）

	百万円	(百万円未満原則四捨五入、端数調整有り)
社会活動	122	救急法などの講習会、赤十字ボランティアや青少年赤十字など
社業振興	92	赤十字大会、社資募集や広報活動、国際人道法の普及
災害救護	105	救護訓練の実施、救護員の研修、災害救護設備の整備など
基盤整備	22	医療・福祉・血液事業の4つの関連施設の施設整備
国際活動	6	途上国の地域保健の強化及び救急法普及支援など
地区分区交付金	103	地域の赤十字活動
本社事業費	109	本社の活動費
積立金	104	施設整備準備資金、事業準備積立金の積立
総務管理	177	管理職員の人事費（退職資金を含む）や研修費、社会保険料や固定資産税など
資産管理	44	支部社屋の維持管理
次年度繰越額	117	
支出計	1,001	

※評議員会で審議予定の金額です。

## (1) 地震の状況

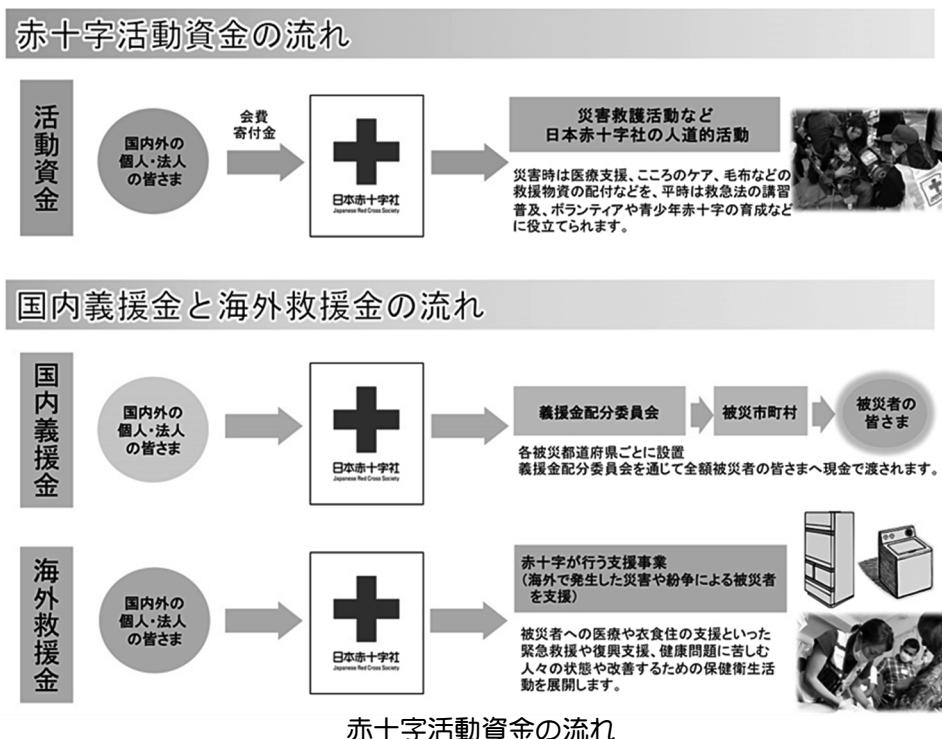
発生日時	平成30年6月18日（月）7時58分
震央	大阪府北部 深さ13km
規模	マグニチュード6.1
最大震度	6弱
震度6弱の市区町村	大阪市北区 高槻市 枚方市 茨木市 箕面市
災害救助法の適用市町村	大阪市 豊中市 吹田市 高槻市 守口市 枚方市 茨木市 寝屋川市 箕面市 摂津市 四條畷市 交野市 島本町

(2) 義援金受付期間 平成30年6月22日～平成30年9月28日

(3) 義援金の受付状況 8億1,797万円

※日本赤十字社並びに大阪府及び大阪府共同募金会での受付の合計

(4) 日本赤十字社の受付状況 3億4,686万円



日本赤十字社で受け付けた義援金については、手数料などの経費は一切いただきません。

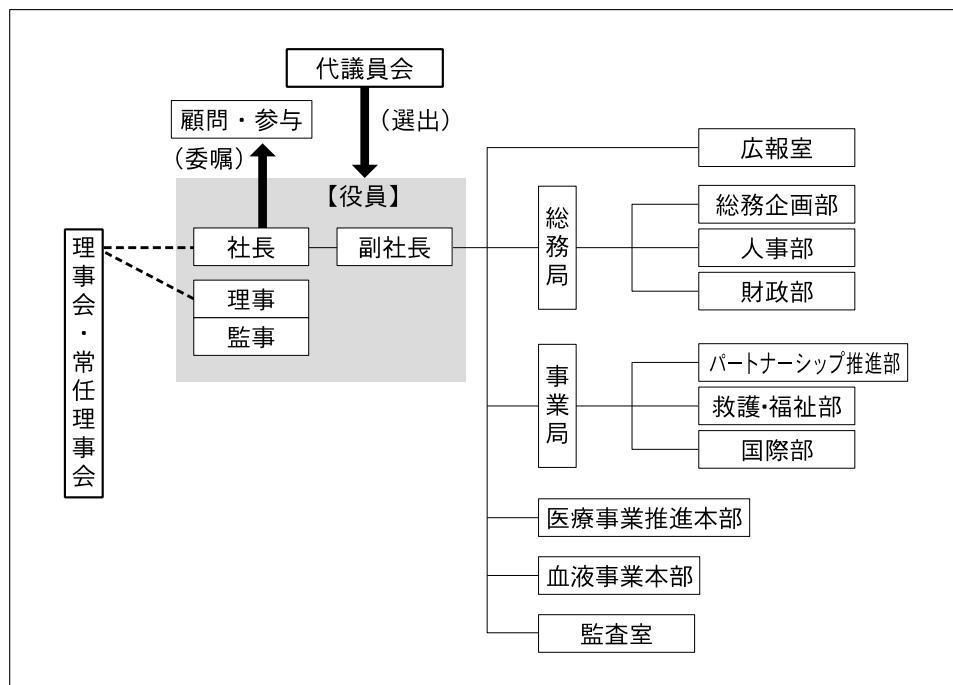
受け付けた義援金は、大阪府に設置された義援金分配委員会において決定した配分に基づき、府から市町村を通じて被災された方々に届けられました。

# 17 日本赤十字社の機構

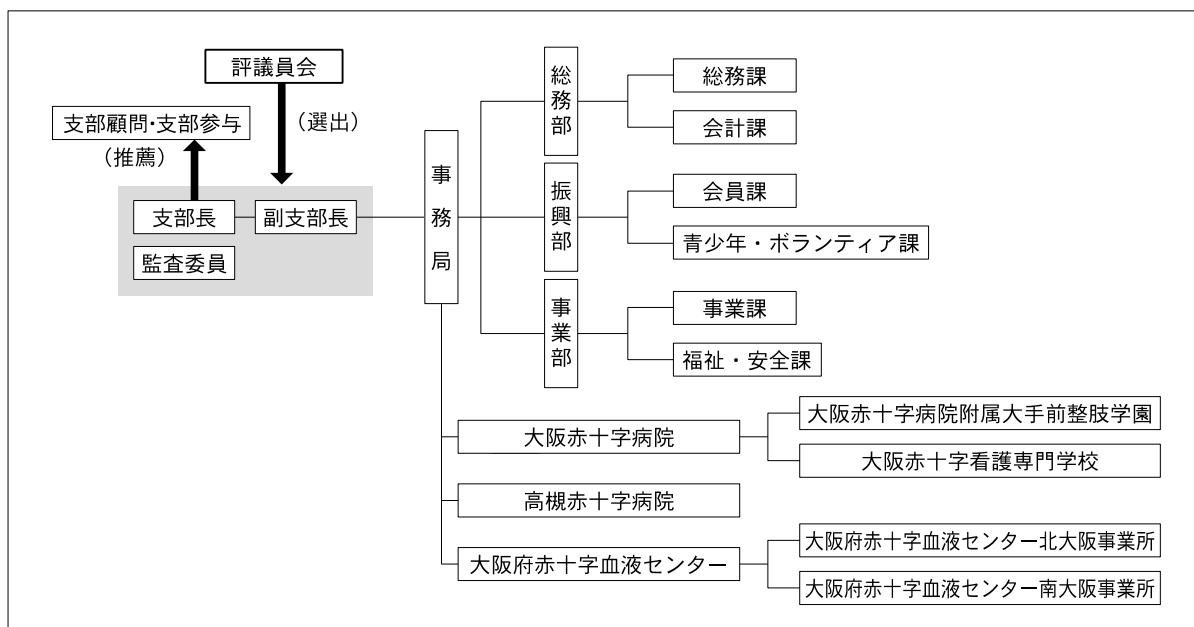
## 1 機構

日本赤十字社の本社は東京に、支部は各都道府県庁の所在地におかれています。各支部の管内には地区と分区があり、地区は都または市の区と市、分区は町村にあります。また、政令指定都市には区地区を統括する地区本部があります。各都道府県にある赤十字病院、血液センターなどの施設は、一部本社直轄のものを除いてすべて支部に所属しています。

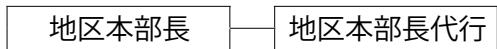
### (1) 本社



### (2) 支部及び管内施設



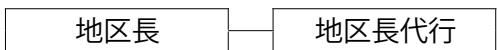
### (3) 大阪市地区本部



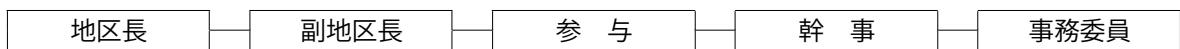
### (4) 堺市地区本部



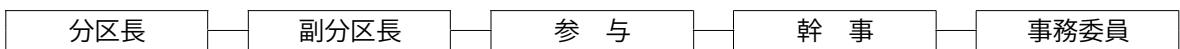
### (5) 地区（大阪市）



### (6) 地区（堺市の区・衛星都市）



### (7) 分区（町・村）



（注）

大阪市は、平成24年7月31日をもって日赤地区業務を返上したことで、平成25年4月1日から社資の受領・送金などの業務を大阪市各区の社会福祉協議会で取り扱うこととなった。

ついては、大阪市地区本部は日本赤十字社大阪府支部内に置き、大阪市赤十字奉仕団長に地区本部長を、大阪市社会福祉協議会会长に地区本部長代行を委嘱した。

また、大阪市各区の地区長については、各区の赤十字奉仕団長に、各区の社会福祉協議会会长に地区長代行を委嘱した。

# 18 大阪日赤有功会

大阪日赤有功会は、昭和45年12月、日本赤十字社名誉副総裁であられた高松宮妃殿下をお迎えしての発会式を盛大に挙行し、大阪商工会議所市川忍会頭（第18代会頭）をはじめとする23人の発起人により発足しました。以来40年以上に渡り、日本赤十字社の有力な支援団体として様々な事業を実施し、現在約730人の会員を擁しています。

## 1 常任委員会の開催

### 第1回（平成30年5月22日）

- イ 平成29年度事業報告並びに収支決算について審議。
- 任期満了に伴う役員の改選期のため、常任委員候補者の選出及び、会長・副会長・監事・会計の推薦について協議し、総会に諮ることを決定。

### 第2回（平成30年6月14日）

- イ 常任委員会正副会長並びに監事、会計の選出。

### 第3回（平成31年3月12日）

- イ 平成30年度事業報告並びに収支決算（見込）について審議。
- 大阪日赤有功会会則の一部改定について審議。
- ハ 令和元年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について審議。
- 二 令和元年度総会の開催日と総会内容を決定。

## 2 総会の開催

平成30年6月14日、大阪赤十字会館に会員約70人が参集し、総会を開催。

平成29年度の事業報告並びに収支決算及び平成30年度の事業計画並びに収支予算、役員の改選について満場一致で承認。

今後更に赤十字の有力な支援団体として益々の発展を遂げることを申し合わせて第一部を終了。

第二部では、赤十字防災ボランティア運営委員長（当会監事）の中山重幸氏を招き、「災害時の炊き出し～あたたかい食事でこころをつなぐ～」をテーマに講演。

講演後、炊出用の大鍋や炊飯袋で炊き上げた温かいご飯等の展示と試食を実施。

その後、永田会長の乾杯の発声のもと、茶話会を開催。

### 3 親睦行事の実施

#### (1) 懇親パーティー

平成30年11月26日、平成30年度大阪府赤十字大会の式典後、日本赤十字社名誉副総裁 高円宮妃殿下を迎へ、懇親パーティーを開催。

#### (2) 親睦旅行

10月16日、徳島県鳴門市の板東俘虜収容所などをめぐる日帰りバスツアーを実施し、10人が参加。

### 4 会員の健康管理

会員の健康管理と生活習慣病の早期発見を目的に、大阪・高槻両赤十字病院の「人間ドック」を会員料金にて案内し、57人が受診。

### 5 修学奨励

#### (1) 大阪赤十字看護専門学校

新入生50人に学業奨励のため、文具5点セットと図書「ソルフェリーノの思い出」を、また卒業生27人に卒業祝いとして電卓・ライト付きバイブタイマーを贈呈。

#### (2) 大阪赤十字病院附属大手前整肢学園

同園内に設置されている大阪府立堺支援学校大手前分校の入園児2人にウォッシュタオルを、卒園児4人にはトートバッグとタオルのセットを贈るとともに、同園で開催された秋季運動会に参加した園児に記念品のタオルセットを贈呈。

### 6 赤十字活動推進への支援

屋外の講習でもプロジェクターの投影ができる小型レーザープロジェクター1台と、災害時等赤十字防災ボランティアが着用する赤十字防災ボランティアベストを50着、大阪府支部へ寄贈。

また、乗り降りのしやすい手すり付体重計、プラネタリウム等鑑賞用ホームシアター、親子専用の病室備え付けのこたつテーブルを大手前整肢学園へ寄贈。

## 7 活動資金募集協力

平成30年度は、会員並びに会員の紹介者から601件、85,323,581円の活動資金を日赤大阪府支部に寄付。

また、昨年度の功労に対して、日本赤十字社大阪府支部長から感謝状を受彰。

## 8 会報誌の発行

有功会の活動情報の紹介など、平成31年1月に会報誌第11号を発行。

## 9 広報紙「日赤大阪」等の配付

日赤大阪府支部の広報紙「日赤大阪」並びに支部の「事業報告書」、「事業計画」、「赤十字カレンダー」を会員に配付。

## 10 日赤紹綴・有功会会長協議会総会への出席

平成30年10月4日から5日にかけて秋田県秋田市にて開催された同総会へ、辻本副会長と服部事務局長（日赤大阪府支部）が出席。

## 11 全国赤十字大会への参会

平成30年5月16日、明治神宮会館において開催された全国赤十字大会に会員24人が参会。

# 19 平成30年度の主な取り組み

4月	・「ソルフェリーノの丘のイトスギ」植樹式（大阪府青少年赤十字賛助奉仕団寄贈）
5月	・第37回わんぱく相撲大会への出展（A E D体験ブース）
	・第4（近畿）ブロック合同災害救護訓練の開催（大阪赤十字会館及び大阪城公園 太陽の広場）
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年大阪府北部地震の活動 6月18日～20日に86人の要員を被災地に派遣（支部37人、大阪赤十字病院41人、高槻赤十字病院3人、大阪府赤十字血液センター5人） 茨木市内の避難所アセスメントを実施 6月21日～7月26日に55人の赤十字防災ボランティアを茨木市災害VCに派遣、6月23日～7月21日に42人の赤十字防災ボランティアを高槻市災害VCに派遣 各VC運営支援（ボランティアの受付やマッチング）を実施</li> </ul>
	・評議員会を開催
	・大阪日赤有功会総会を開催
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月豪雨災害の活動 7月10日～28日に26人の要員を被災地に派遣（支部5人、大阪赤十字病院17人、高槻赤十字病院4人） 倉敷市保健医療調整本部の指揮下で真備町内の避難所救護所での診療を実施</li> </ul>
	・青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センターを開催（府立少年自然の家）
	・親と子の防災セミナーを開催
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で体験！着衣泳を開催（あおとりウイングス）</li> <li>・親子で学ぼう！心肺蘇生を開催（大阪赤十字会館）</li> <li>・青年赤十字奉仕団 YABC講座を開催（大阪赤十字会館）</li> <li>・第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流のため、マレーシア赤新月社にメンバー12人及び指導者等8人を派遣（大阪府支部ではメンバー2人及び青年奉仕団員1人を派遣）</li> </ul>
9月	・1日赤十字デー@大阪880万人訓練を開催
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤十字ボランティア・フェスティバルを開催（TWIN21）</li> <li>・日本赤十字社大阪府支部創設130周年記念事業 国際人道法講座「人のいのちを守る赤十字の人道支援」（第1回）を開催（大阪赤十字会館）</li> <li>・国際赤十字・赤新月社連盟バングラデシュ南部避難民救援事業のため、国際救援要員（1人）をバングラデシュ人民共和国に派遣</li> </ul>

11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度大阪府赤十字大会 －救うことを つづける 支部創設130周年－ を開催（シェラトン都ホテル大阪）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミャンマー赤十字社救急法普及支援事業のため、救急法指導員（職員）1人をミャンマー連邦共和国に派遣</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員会を開催</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童養護施設入所児童招待プログラム「赤十字冬のつどい」を開催</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤十字ボランティアのつどいを開催</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センターを開催（府立少年自然の家）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本赤十字社大阪府支部創設130周年記念事業 国際人道法講座「人のいのちを守る赤十字の人道支援」（第2回）を開催（大阪赤十字会館）</li> </ul>

# 大阪府内の赤十字施設

## 日本赤十字社大阪府支部

	住 所	〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7
	電 話	06-6943-0705 (代表)
	ファックス	06-6941-2038
	ホームページ	<a href="http://www.osaka.jrc.or.jp/">http://www.osaka.jrc.or.jp/</a>

## 大阪赤十字病院

	住 所	〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30
	電 話	06-6774-5111 (代表)
	ファックス	06-6774-5131 (代表)
	ホームページ	<a href="http://www.osaka-med.jrc.or.jp/">http://www.osaka-med.jrc.or.jp/</a>
附属施設	大阪赤十字看護専門学校	06-6774-5055
	大手前整肢学園	06-6775-1900 (代表)

## 高槻赤十字病院

	住 所	〒569-1096 高槻市阿武野1-1-1
	電 話	072-696-0571 (代表)
	ファックス	072-696-1228
	ホームページ	<a href="http://www.takatsuki.jrc.or.jp/">http://www.takatsuki.jrc.or.jp/</a>

## 大阪府赤十字血液センター

	住 所	〒536-8505 大阪市城東区森之宮2-4-43
	電 話	06-6962-7001 (代表)
	ファックス	06-6968-4900
	ホームページ	<a href="http://www.wanonaka.jp/">http://www.wanonaka.jp/</a>

# 献血マップ

## 大阪府赤十字血液センター

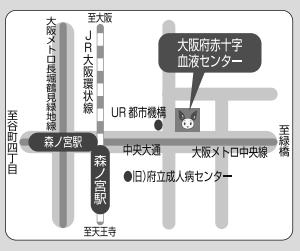
☎ 0120-326759

大阪市城東区森ノ宮 2-4-43

JR 大阪環状線・大阪メトロ中央線・長堀鶴見緑地線森ノ宮駅東へ 350m

**受付時間** 9時～17時  
(成分献血は16時30分まで)  
(ただし、日曜日に限り15時まで)

**休日** 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始  
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は日曜日を開設します。



## 大阪府赤十字血液センター南大阪事業所

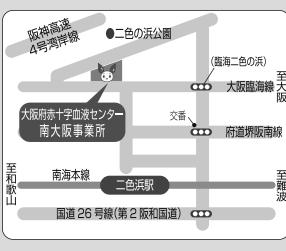
☎ 0120-736759

大阪府貝塚市沢 356-1

南海本線二色浜駅下車  
西へ徒歩 15 分

**受付時間** 9時～17時  
(成分献血は15時まで)

**休日** 土曜日  
(祝日、年末年始は除く)



## 阪急グランドビル25献血ルーム

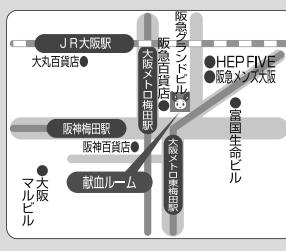
☎ 0120-376759

大阪市北区角田町 8-47

阪急グランドビル 25 階

**受付時間** 10時～13時、14時～18時  
(成分献血は17時30分まで)  
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

**休日** 年末年始



## 西梅田献血ルーム

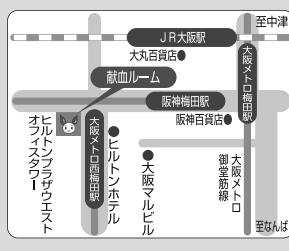
☎ 0120-316759

大阪市北区梅田 2-2-2

ヒルトンプラザエスト  
オフィスタワー 10 階

**受付時間** 10時～13時、14時～18時  
(成分献血は17時30分まで)  
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

**休日** 年末年始



## 御堂筋献血ルーム CROSS CAFE

☎ 0120-276759

大阪市中央区西心斎橋 1-4-5

御堂筋ビル地下 1 階  
大阪メトロ心斎橋駅 7 口 出口より南へすぐ

**受付時間** 10時～13時、14時～18時  
(成分献血は17時30分まで)  
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

**休日** 年末年始



## まいどなんば献血ルーム

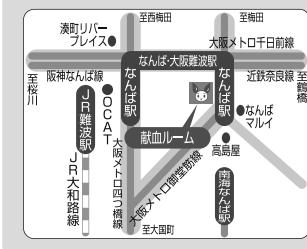
☎ 0120-296759

大阪市中央区難波 4-4-4

難波御堂筋センタービル 4 階  
大阪メトロ御堂筋線なんば駅 10 口 出口直結

**受付時間** 10時30分～13時、14時～18時30分  
(成分献血は17時30分まで)  
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

**休日** 年末年始



## あべの献血ルーム KiZooNa

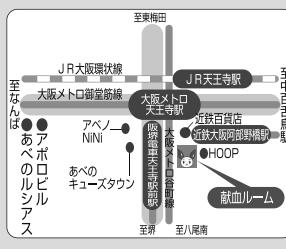
☎ 0120-366759

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-3-21

岸本ビル 3 階

**受付時間** 10時～13時、14時～18時  
(成分献血は17時30分まで)  
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

**休日** 年末年始



## 門真献血ルーム

☎ 0120-356759

大阪府門真市一番町 23-16

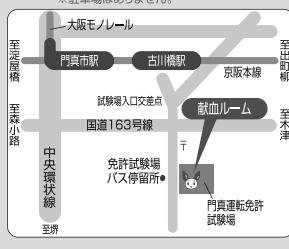
門真運動免許試験場 別館 1 階

京阪本線古川駅下車後

京阪バス免許試験場、または徒歩約 1.2km

**受付時間** 9時～12時、13時～16時30分  
(全血献血のみ受付)

**休日** 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始  
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は日曜日を開設します。  
※駐車場はありません。



## 京阪枚方市駅献血ルーム

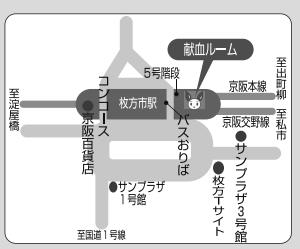
☎ 0120-336759

大阪府枚方市岡東町 19-1

京阪枚方市駅東口 1 階  
5 号階段横

**受付時間** 10時～13時、14時～18時  
(成分献血は17時30分まで)  
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

**休日** 金曜日、第1・3日曜日、年末年始



## 阪急茨木市駅献血ルーム

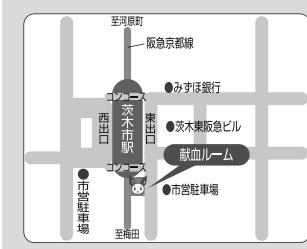
☎ 0120-346759

大阪府茨木市永代町 1-5

阪急茨木線茨木市駅  
ロサヴィア 1 階東側

**受付時間** 10時～13時、14時～18時  
(成分献血は17時30分まで)  
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

**休日** 水曜日、第3土曜日、第4日曜日、年末年始



## 堺東献血ルーム

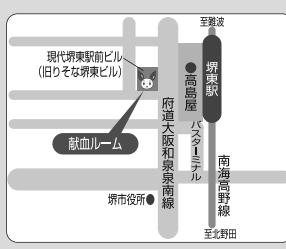
☎ 0120-386759

大阪府堺市堺区北瓦町 2-4-18

現代堺東駅前ビル 5 階  
(旧りそな堺東ビル)

**受付時間** 10時～13時、14時～18時  
(成分献血は17時30分まで)  
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

**休日** 木曜日、第3日曜日、年末年始



**平成30年度 事業報告書**  
**令和元年6月発行**

日本赤十字社大阪府支部  
〒540-0008  
大阪市中央区大手前2-1-7  
電話:06-6943-0705(代表)  
FAX:06-6941-2038  
URL:<http://www.osaka.jrc.or.jp/>  
Facebook:<http://www.facebook.com/jrcosaka/>